

OKIU

MAGAZINE Vol.120・121



02 学生支援・特集 1
ユニークな奨学金制度

06 学生支援・特集 2
就職サポート

12 学生支援・特集 3
留学計画

18 OKIU 青春白書

24 研究室探訪

28 大学祭レポート

36 追悼
故前津榮健理事長・学長

40 校友会
創立50周年記念式典

42 ニューストピックス

52 クラブ・サークル紹介

56 大学概要紹介動画

57 うまんちゅ定例講座実施報告

58 人事情報

59 広報ライター募集

60 大学行事案内



みやぎりな
宮城 利奈

英米言語文化学科 4年次

1年生はコロナ禍で、ほぼオンライン授業だったので勉強をしていくのが大変でしたが、友だちや先生方の支えで乗り越えられました。コロナ禍を頑張った4年間は大きな自信となり、私が希望した職種に就けることになりました。そこでも頑張ります！

ユニークな奨学金制度

沖縄国際大学では様々な奨学金制度を設けているため、各々の学業事情や経済的事情に合わせた奨学金への出願が可能です。こちらで紹介している奨学金以外にもたくさんの奨学金がありますので、本学ウェブサイトの「奨学金情報」をご確認ください。



URL:https://okiu.ac.jp/campus_life

兄弟姉妹等支援奨学金

兄弟姉妹など家族で沖縄国際大学に在籍する学生を支援する奨学金です(給付は入学年度のみ)。
※2~4年生に兄弟姉妹など家族で3人以上在籍している学生を対象にした奨学金(成績基準があります)もあります。

出願条件	金額
入学年度に家族が3名以上在籍する学生	授業料相当額(¥610,000)
入学年度に家族が2名以上在籍する学生	入学金相当額(¥120,000)

入学時離島遠隔地出身学生支援奨学金

離島遠隔地から入学してきた学生を支援する奨学金です(給付は入学年度のみ)。

出願条件	金額
本学が定める遠隔地出身学生で、 且つ家計支持者が遠隔地に 居住している新入生	入学時の施設設備資金 1/4相当額(¥50,000)

離島遠隔地出身学生支援奨学金

離島遠隔地出身学生を支援する奨学金です(全学年が対象)。

出願条件	金額
本学が定める遠隔地出身学生で且つ 家計支持者が遠隔地に居住しており 学業・人物ともに優秀で 経済的理由により学費の支弁が 困難な学生 ※成績基準があります	授業料の半額相当額 (¥305,000)
	授業料の1/4相当額 (¥152,500)

学生課窓口(本館2階) 受付時間 9:00~19:00(月~金)

TEL: 098-893-7686

E-mail: welchr@okiu.ac.jp

STUDENT MESSAGE



心置きなく、いろんなことにチャレンジできています！

本学には様々な奨学金制度があり、私は特待奨学生に選ばれ奨学金を頂いています。家計的に厳しいため、アルバイトと日本学生支援機構からの奨学金を受給していますが、この奨学金を受けることができ大変助かっています。

特待奨学生に選ばれたことで、お金の心配をせず、「学ぶ」ということに集中して大学生活を過ごしています。また、今までの努力が認められたように感じ、自信やモチベーションに繋がりました。

本学は奨学金を始めとし、学生に対して様々なサポートが充実しているため、学業に専念できるだけでなく、興味を深めたり、新しくやりたいことを見つけたりすることのできる素敵な環境だと思います。

新垣 日菜

[しんがき ひな]

日本文化学科 3年次 那覇国際高校出身

奨学金一覧

経済的理由等により学費の捻出が困難な学生をサポートすることを目的に、各種奨学金制度を設けています。大学4年間で必要な学費はおおよそ350万円。奨学金制度を活用し、充実したキャンパスライフを過ごしませんか。

◎特待奨学金

本人が納入した授業料等に応じた金額を給付。年度ごとに決定するため、成績優秀者は3年間連続で特待奨学金を受けられるチャンスがあります。

種別	金額	選考方法	資格要件	対象
給付	授業料・施設設備資金相当額	前年度までの学業成績に基づき、教授会で選考	学業・人物ともに優秀で、他の模範となる学生	2~4年次 各学科・各学年1名 (計33名)

◎兄弟姉妹等支援奨学金

本人が納入した授業料及び入学金に応じた金額を給付。

種別	金額	資格要件	成績基準	対象
給付	授業料相当額	①入学年度に家族が3名以上在学する学生 ②2~4年次に家族が3名以上在学する学生	②のみ成績基準有	全年次
	入学金相当額	入学年度に家族が2名在学する学生	不問	入学年次

◎入学時離島遠隔地出身学生支援奨学金

種別	金額	選考方法	対象
給付	入学時の施設設備資金4分の1相当額	本学が定める遠隔地(沖縄県国頭郡国頭村、東村及び大宜味村、沖縄県内離島のうち、宮古島市、石垣市、久米島町、伊平屋村、伊是名村、伊江村、本部町:水納中学校区域のみ、うるま市:津堅中学校区域のみ、南城市:久高中学校区域のみ、南大東村、北大東村、座間味村、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、多良間村、竹富町、与那国町)出身学生で、且つ家計支持者が遠隔地に居住している新入生	入学年次

◎離島遠隔地出身学生支援奨学金

種別	金額	選考方法	対象
給付	授業料半額相当額	本学が定める遠隔地(沖縄県国頭郡国頭村、東村及び大宜味村、沖縄県内離島のうち、宮古島市、石垣市、久米島町、伊平屋村、伊是名村、伊江村、本部町:水納中学校区域のみ、うるま市:津堅中学校区域のみ、南城市:久高中学校区域のみ、南大東村、北大東村、座間味村、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、多良間村、竹富町、与那国町)出身学生で、且つ家計支持者が遠隔地に居住しており、学業・人物共に優秀で、経済的理由により学費の支弁が困難である学生。	全年次
	授業料4分の1相当額		

学外奨学金

日本学生支援機構奨学金を中心に、地方公共団体や民間育英団体奨学金制度があります。

◎日本学生支援機構 (JASSO)

第一種(無利子貸与)		第二種(有利子貸与)	
貸与月額	自宅通学:20,000円~54,000円の中から選択 自宅外通学:20,000円~64,000円の中から選択	貸与月額	20,000円~120,000円の中から選択
貸与始期	4月	貸与始期	4月
貸与期間	貸与開始の月から卒業するまでの標準修業年限毎年「奨学金継続願」の提出が必要です。	貸与期間	貸与開始の月から卒業するまでの標準修業年限毎年「奨学金継続願」の提出が必要です。
学業成績	1年次 ・高校の成績の平均が3.5以上 ・高等学校卒業程度認定試験合格者で上記に準ずる人	学業成績	学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。
	2年次以上 ・本人の属する学部(科)の上位1/3以内		
家計基準	生活維持者の「貸与額算定基準額」が、貸与奨学金の種類ごとに定められる基準額以下であること。	家計基準	生活維持者の「貸与額算定基準額」が、貸与奨学金の種類ごとに定められる基準額以下であること。

※JASSO奨学金は、高等学校在学中に予約申込みができます。給付奨学金や申請方法についてはJASSOホームページをご覧ください。
このほか、地方公共団体や民間育英団体奨学金等の募集については、大学を介さずに行われるものもあります。
・奨学金希望者は、高等学校在学中のうちに、直接、出身地の教育委員会や関係方面に相談してください。

◎その他本学独自の奨学金 ※募集時期等は変更となることがあります。

名称	種別	金額	資格要件	募集時期等
一般奨学金	給付	第一種:授業料相当額 第二種:授業料の半額相当額 第三種:授業料の1/4相当額	学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学困難な学生	9~10月
スポーツ奨学金(公募型)	給付	第一種:授業料相当額 第二種:授業料の半額相当額 第三種:授業料の1/4相当額	学業・人物ともに良好で、スポーツ技能が優秀で、スポーツ競技の向上と本学の発展に寄与すると認められ、経済的理由により修学困難な学生。 ※大学公認の部・サークルに所属している学生が対象。 顧問からの推薦が必要。	9~10月
文化活動奨学金	給付	第一種:授業料相当額 第二種:授業料の半額相当額 第三種:授業料の1/4相当額	学業・人物ともに良好で、顕著な文化活動実績のある2年次以上の学生で、本学の発展に寄与すると認められ、経済的理由により修学困難な学生。※文化活動実績の基準あり	9~10月
被災学生奨学金	給付	第一種:授業料相当額 第二種:授業料の半額相当額	自然災害及び火災等の事由により、家計が急変し、修学が困難になった学生	随時受付 ※学生課に申し出て ください
国内協定校派遣留学奨学金	給付	留学期間に充当する本学授業料の半額相当額	学業・人物共に優秀な学生 ※2年次以上・派遣内定者が対象	1~2月
国外協定校留学奨学金	給付	授業料・施設設備資金相当額	学業・人物共に特に優秀な学生	グローバル教育支援センターにて受付。留学期間中、本学への学費納入が必要。
認定留学奨学金	給付	認定留学期間(6か月または1年)の本学授業料及び施設設備資金の6分の5相当額	留学先大学から「入学許可書」を取得すること	
外国人留学生奨学金	給付	授業料の半額相当額	正規課程に在籍し、「留学」の在留資格を有する私費外国人留学生で、人物・学業ともに優秀かつ国内外の教育、研究、文化、国際交流等の促進に寄与する者	グローバル教育支援センターにて受付
沖縄国際大学後援会奨学金	給付	授業料の半額相当額	学業・人物共に良好で、家計支持者の事情により修学が困難な学生	随時受付 ※学生課に申し出て ください
沖縄国際大学校友会奨学金	給付	150,000円	学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生	9~10月
		県内大学院:100,000円 県外・国外大学院:150,000円	学部卒業見込者で、大学院進学が決まっている学生のうち、学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生	1~2月
沖縄国際大学校友会私費外国人留学生奨学金	給付	50,000円	学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生	グローバル教育支援センターにて受付
宮城勇ベストスポーツマン支援奨学金	給付	150,000円	学業・運動技能ともに秀でた資質を有し、将来スポーツで培った心身を善悪して社会に貢献できる学生	3月・3~4年次対象 (クラブ顧問等の推薦を受け決定)
学習奨励奨学金	給付	入学金相当額	一般選抜試験に合格した者で、各学科の成績上位者	該当者には合格通知同封で通知。 給付は入学後に行う
学生サポート奨学金	給付	100,000円	学業・人物共に優秀な学生	9~10月
金秀グループ奨学金	給付	100,000円	学業・人物共に優秀な学生	9~10月

・このほかに、学外団体による外国人留学生対象の奨学金制度があります。お問い合わせはグローバル教育支援センターまで。
・「高等教育の修学支援新制度」については、HPで案内中です。
・授業料等減免を受ける場合は、一部の奨学金を除き、本学奨学金及び本学関係奨学金の取得ができません。

奨学金制度を活用しよう!

本学及び本学関係奨学金制度、日本学生支援機構奨学金制度については、学生課窓口にご相談ください。その他、学外の奨学金制度の案内も行っています。

●学生課窓口 受付時間 9:00~19:00(月~金)
TEL. 098-893-7686 E-mail: welchr@okui.ac.jp
●グローバル教育支援センター窓口 受付時間 9:00~17:00(月~金)
TEL. 098-893-7668 E-mail: ircchr@okui.ac.jp

就職サポート

一人ひとりの進路をしっかりとサポート

就職活動は初めての体験。どんなふうに進めていいのか不安や迷いがあるのは当然です。キャリア支援課では、就職ガイダンスをはじめ公務員、教員、一般企業などの各種採用試験対策講座、OB・OG就職研究会、就職相談、模擬面接、履歴書添削など様々な取り組みを行っています。また、就職資料コーナーには、求人、企業、公務員試験に関する情報を取り揃え、設置されたパソコンから就職システムやインターネットを利用し、就職情報を迅速に収集できるようサポートしています。目的意識をしっかりと持って、納得のいく就職活動が出来るようキャリア支援課スタッフも全力で応援します。



キャリア支援課
スタッフに
気軽に
相談してね！

沖縄国際大学インターンシップ

本学では独自のインターンシッププログラムを設けており、夏期休業期間中を利用して、企業や官公庁においてインターンシップ実習を実施しています。

2023年度は、実に、50カ所、81名の学生が実習に参加しています。実習体験は、就職先を選ぶ上での参考だけでなく、職業観の育成や就職活動への自信にもつながり、就職活動を有利にすすめることができます。



○ 本学インターンシップスケジュール

4月～6月上旬	6月中旬～7月	8月～9月	10月～12月
<ul style="list-style-type: none"> ・学内募集説明会 ・申込・面接 ・選考 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・事前ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・各実習先にてインターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事後ガイダンス ・インターンシップ報告会

1 専門スタッフによる就職相談

専門スタッフによる就職相談や模擬面接、履歴書・エントリーシートの添削などを行っています。各スタッフのスケジュールは以下のとおりです。(事前予約制)

- ・キャリアアドバイザー 毎週月曜日から金曜日
- ・キャリアカウンセラー 毎週火曜日および水曜日



2 企業説明会、公務員・教員採用試験制度説明会の開催

学内において、各企業の会社説明会、国家公務員各種、教員採用試験説明会を行っています。2023年度も多くの企業説明会を開催しました。



3 充実した就職関連資料

県内外企業からの求人票、就職情報誌、その他就職に関する諸資料を取り揃えています。企業研究に大いに活用して下さい！



4 就職模擬試験、適性検査の実施

企業や公務員模擬試験、その他適性検査を行っています。

- ・SPI模擬試験
- ・一般常識模擬試験
- ・国家公務員一般職採用模擬試験
※課外講座内で実施
- ・地方公務員採用模擬試験
(行政職[地方上級]、警察官・消防官)
※課外講座内で実施

5 県外就職活動補助金

県外就職活動(合同企業説明会、会社訪問、採用試験・面接、インターンシップ等)を行う際、旅費等の一部を補助しています。



6 学生サポーターの導入

学生にとって就職活動は初めての体験で、不安や悩みも多いものです。そんな不安や悩みは実際に就職活動を終えたばかりの先輩に相談することで解消しましょう。これから就職活動を始める学生にとっては、気軽に先輩の実体験を聞けるまたとない場です。ぜひ活用して下さい！



7 「冲国大ポータル」と公式YouTube、各種SNSによる迅速な情報提供

冲国大ポータルでは、就活セミナー・イベントや学内学外問わず開催される企業説明会の情報をはじめ、先輩達の各種採用試験報告を閲覧することができます。また、公式YouTube「キャリちゃんねる」では、「就活の流れ」を確認するための動画や学生サポーターによる企業訪問等様々な動画コンテンツを準備しています。これらの情報は、公式SNSでも発信しています。



YouTube
「キャリちゃんねる」



Instagram



Twitter

就職活動スケジュール

就職活動に近道はありませんが、頑張った分だけ成長できます。何ごとにも順序があるように、就職活動にも順序があります。自分の中の願望と可能性とを照らし合わせながら、将来の自分へ向かう第一歩を踏み出してください。先生のアドバイスや先輩の体験談、同じ仲間との情報交換なども大切です。常に自身の“アンテナ”をはりめぐらせましょう。



<h3>1年次</h3> <p>あらゆることにチャレンジ</p> <p>とにかくあらゆる事に積極的にチャレンジしましょう。多くの人と交流を持ち、将来の自分をイメージしながら、自己の基礎能力を把握することが大切です。</p>	<h3>2年次</h3> <p>自分自身を再確認!</p> <p>「学ぶこと」への興味を高めつつ、将来自分を最大限に活かす仕事を見つけるために、自分自身を再確認しよう。</p>	<h3>3年次</h3> <p>コツコツと積み上げて、計画を立てよう。</p> <p>就業観・職業観を学び、インターンシップ、ガイダンス、就活準備のための講座・セミナーに参加することで、企業研究を深め、職種の絞り込みや就活プランを立てよう! また、3月に就活解禁したら、学内合同企業セミナーに参加して、会社訪問を積極的に行いましょう。</p>	<h3>4年次</h3> <p>本格的に始動しよう!</p> <p>就職先を早めに決めるために、学内合同企業セミナーや、さまざまな就活支援講座・セミナーに参加し、早い時期から対策を行いましょう。そして、遅くとも年内には就職先を決定し、学生生活の総括に加え就業前の準備期間として有意義に活動しよう!</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

充実したサポートが頼もしい!

1年次～4年次

年間を通して行っている就活プログラムも!

- 就職相談・履歴書添削・模擬面接 (キャリア支援課・キャリアカウンセラー)
- 共通科目「キャリア教育科目群」との連携
- 出張キャリアガイダンス (所属ゼミ)
- 資格取得支援
- 筆記試験対策講座 (SPI・教養)
- 就活支援講座・セミナー各種



<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャリアガイダンス (前期) ● インターンシップ事前ガイダンス ● 夏休み直前ガイダンス ● インターンシップ (夏期休暇期間中) ● 県外就活支援開始 	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就職ガイダンス ● 学内企業説明会 ● 筆記試験模試 ● 会社選考会開始 (6月から)
<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就職ガイダンス (後期) ● インターンシップ事後ガイダンス ● インターンシップ報告会 ● 内定者座談会 ● OB・OG就職研究会 ● 筆記試験模試 ● 業界企業研究セミナー 	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学内企業説明会



就職内定を掴みとった先輩からのメッセージ!

MESSAGE

自分に自信を持つこと

大学生活の集大成の一つとして、就職活動があります。就職活動を始めた頃は、自分のやりたいことが分からなく、多くの不安を抱える日々でした。しかし、キャリア支援課スタッフの方々の支援もあり、徐々に自己理解を深めることができ、実際の面接では自分らしさを発揮することができました。

就職活動を通して気づいたことは、大学生活の一つ一つの経験が自らの武器となることです。多くの経験をすることで自らの自信が生まれ、それが就職活動の成功につながるのではないかと考えています。

大学生活は一度きりしかありません。大学生活を楽しみながらも、自らを成長させる場に積極的に飛び込んでほしいと思います。

大同火災海上保険株式会社
橋 椋太
 [たちばな りょうた]
 英米言語文化学科 2022年度卒業 普天間高校出身

正課外でのサポート

沖国大では、正課外でも、卒業後の進路のために、頑張る学生のサポートも万全です。キャリア支援課では、様々な資格や検定試験合格、また採用試験合格に向けた対策講座等の課外講座を多数実施し、進路に向けたスキルアップを支援しています。課外講座には一部有料のものもありますので、詳細は、キャリア支援課にお問い合わせください。



○課外講座

毎年様々な講座を企画しています。

社会状況から、社会に求められるスキルをさらに向上できるよう、各種講座を企画・実施しています。

〈開講一例〉

- 公務員試験対策講座(二次対策込)
- 基本情報処理技術者試験
- 教員採用試験教職教養対策講座
- 午前免除関連講座
- 警察官A二次対策講座
- CG-ARTS検定対策講座
- 行政書士試験対策講座
- サーティファイWord文書
- SPI試験等対策集中講座
- 処理技能認定試験2級対策講座
- ブライダルプランナー検定2級対策講座
- サーティファイExcel表計算
- ITパスポート試験対策講座
- 処理技能認定試験3級対策講座
- FP技能士3級対策講座

※申し込み人数によっては、講座が開講になることもあります。
 ※一部有料の講座受講料は、市価と比べて割安に設定しています。

○「キャリアサポート助成金」制度

本学では、正課内科目の延長線上に位置付けられる「資格や検定試験」の合格に至った場合、当該学生の努力を讃えるとともに、より高度な資格や技能を身につけることを奨励するため、本人の申請に基づいて、キャリアサポート助成金を支給します。

キャリアサポート助成金の活用により、在学中の各種資格取得や検定合格で自身のキャリアアップと、より充実した学生生活が過ごせるよう大学として取り組んでいます。

キャリア支援課 | キャリアサポート助成の詳細については、キャリア支援課へお問い合わせください。
 TEL/098-893-7779

資格取得サポート

挑戦できる資格の多さが魅力

挑戦できる資格の多さは沖縄国際大学の特色です。教員免許や全学部共通で挑戦できる博物館学芸員、図書館司書はもちろん、今人気の社会福祉系の資格、社会に出て役立つビジネス系の資格取得をめざします。本学ではこの資格取得のためのバックアップも充実。幅広いカリキュラム編成で、より質の高い専門性を有する資格の取得が可能となりました。

取得可能な免許・資格一覧

名称	学部・学科	法学部		経済学部		産業情報学部		総合文化学部					
		法律学科	地域行政学科	経済学科	地域環境政策学科	企業システム学科	産業情報学科	日本文化学科	英米言語文化学科	社会文化学科	社会福祉専攻	人間福祉学科	心理カウンセリング専攻
教育系	中学校教諭一種免許	国語						●					
		英語							●				
	高等学校教諭一種免許	社会	●	●	●	●	●			●	●	●	
		国語							●				
		英語								●			
		地理歴史	●	●	●	●					●		
		公民	●	●	●	●	●	●			●	●	●
		情報						●					
	商業					●							
	小学校教諭二種免許*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
学校図書館司書教諭資格	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
図書館司書資格	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
学校司書モデルカリキュラム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
博物館学芸員資格	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
日本語教員資格							●	●					
社会福祉系	スクールソーシャルワーカー認定資格											●	
	社会調査士			●	●		●			●	●		
	精神保健福祉士国家試験受験資格										●		
	社会福祉士国家試験受験資格										●		
	公認心理師国家試験受験資格											●	
	認定心理士資格											●	
ビジネス系	レクリエーション・インストラクター資格										●		
	上級環境マネジメント実務士			●	●								
	環境マネジメント実務士			●	●								
	上級情報処理士			●	●		●	●					
ウェブデザイン実務士						●							

※星槎大学通信課程との連携により取得可能(本学教職課程で中学校教諭一種免許または高等学校教諭一種免許を取得することが条件)

わたしの留学計画

限られた学生生活の中で、様々な夢や目標を持ち、キャンパスライフを充実させたいと考えている方は多いと思います。

その中に留学という選択肢も考えている方もいるでしょう。沖縄国際大学では、留学したいあなたを支援するために、様々な留学制度を準備しています。

このページでは、本学の特色である国内外留学について紹介します！



Welcome Party(留学生歓迎会)の様子

● 国外留学を考えている方は、「グローバル教育支援センター」に足を運んでみましょう！

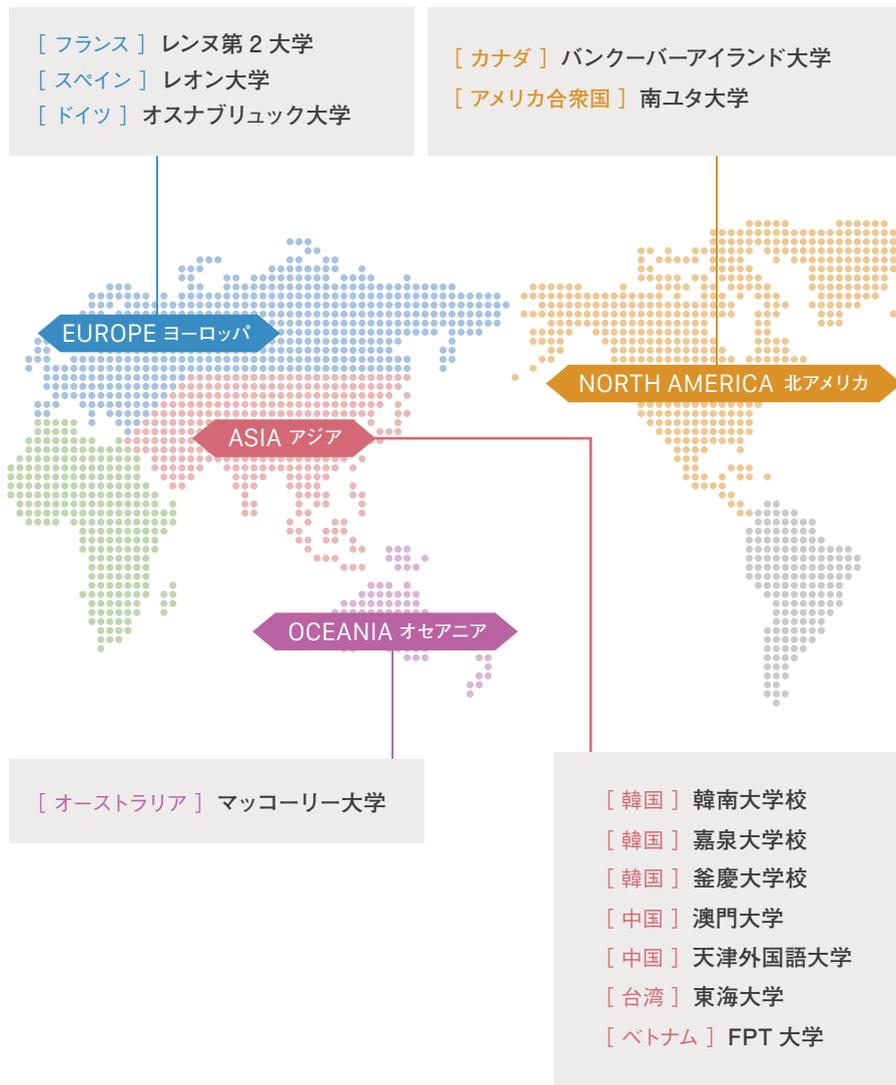
グローバル教育支援センターは海外留学や語学プログラムの窓口となる部署です。各種留学プログラムの実施、外国人留学生のサポートを行っており、Welcome Party(留学生歓迎会)、X'mas Partyなど、本学の学生と留学生間の国際交流イベントも開催しています。また、語学検定試験対策講座や語学合宿セミナーなども実施しています。まずは、グローバル教育支援センターで実施している国際交流イベントに参加して、海外から来た留学生たちと友達になったり、同じく海外留学を志すメンバーたちと知りあうことから始めてみましょう♪



X'mas Party

書初め

◀ 世界10の国と地域に広がる13の国外協定校 ▶



本館1階 **グローバル教育支援センター** ✉ ircchr@okiu.ac.jp
TEL:098-893-7668 <https://www.okiu.ac.jp/global>

● 海外語学・文化セミナー

留学には挑戦したいけれども、長期の留学プログラムに参加するには、不安があるという学生にお勧めのプログラムが海外語学・文化セミナーです。海外語学・文化セミナーは学生の国際交流を推進し、国際的視野をもった人材を育成する目的で開設しています。夏休みまたは春休みを利用して、国外協定校で提供される3~4週間の語学文化研修プログラムに参加します。また、セミナーに参加し、必要な条件・研修成果を満たした学生には、正規の授業科目（共通科目・国際理解科目群）として4単位が認定されます。

● 派遣先

■ 夏期（5月に募集説明会開催）

- 韓南大学校（韓国）
- レオン大学（スペイン）
- バンクーバーアイランド大学（カナダ）
- 天津外国語大学（中国）

■ 春期（10月に募集説明会開催）

- 東海大学（台湾）
- マッコリー大学（オーストラリア）
- FPT 大学（ベトナム）

● 国外協定校留学

国外協定校留学とは休学することなく、交流協定を結んでいる海外の大学に約1年間留学する制度です。留学中は現地の学生と同様のカリキュラムを履修することができ、必要な条件を満たした場合、協定校での修得単位を、本学の修得単位として認定します。留学のタイプは交換留学と派遣留学があります。交換留学生は協定校での授業料を免除します。派遣留学生は派遣先大学の授業料を負担しますが、本学奨学金によって経済的負担をおさえて留学することが可能です。交換留学生・派遣留学生ともに本学在学年次の年間授業料及び施設設備資金相当額を奨学金として給付します（※条件あり）。

● 派遣先

■ 交換留学（留学先大学の学部授業料免除）

- 東海大学（台湾）
- 韓南大学校（韓国）
- 釜慶大学校（韓国）
- 嘉泉大学校（韓国）
- 澳門大学（中国）
- レンヌ第2大学（フランス）
- レオン大学（スペイン）
- オスナブリュック大学（ドイツ）
- FTP 大学（ベトナム）

■ 派遣留学（留学先大学の授業料は自己負担）

- 南ユタ大学（アメリカ）
- バンクーバーアイランド大学（カナダ）

STUDENT INTERVIEW

海外留学体験記



挑戦したから体験できた 貴重な経験

私は英語以外の言語や文化も学んでみたいと考えて、このセミナーに参加しました。しかし、出発前の語学力はスペイン語で挨拶ができる程度でした。そのため、語学学校の友達やホストファミリーに積極的に話すこと話しかけることを心がけ、少しずつ語学力に自信がついてきました。語学学校に通う学生は多国籍で、色々な国の友達を作ることができました。このセミナーを通して、積極的に行動することの大切さを実感しました。また、自分が何にワクワクするのか、海外で生活しないと気づけなかった私自身を知ることができました。スペインで過ごした一ヶ月間は、私にとって最高の思い出です。

留学に少しでも興味がある方は、挑戦してみてください。きっと最高の経験ができると思います！

か か ず れ い か
嘉 数 麗 華

英米言語文化学科 4年次
(那覇西高校 出身)



STUDENT INTERVIEW

海外留学体験記



可能性は無限大！

「何か挑戦したい！」という思いから、大学から学び始めた韓国語をより深く理解するために韓国留学を決意しました。語学力や海外生活などに不安なことも沢山ありましたが思い切って挑戦してみました。

現地では、コロナ禍ということもありオンライン授業がほとんどでした。だからこそ直接会話することが出来ました。留学を通して、語学力アップはもちろん、考え方の変化や視野の広がりを実感しました。結果や成果は人それぞれですが、自分にとって損になることはありません。留学経験は今の自分をひとまわり成長させてくれます。「やってみる！」と一歩踏み出せば、自分の世界が広がること間違いなし！

て ん がん さ き
天 願 早 紀

英米言語文化学科 4年次
(那覇高校 出身)



● 国内協定校派遣留学

本学では海外だけではなく、国内(県外)において単位互換協定を結んでいる大学と半期または1年間の交換留学ができる制度があります。それぞれの地域の自然や文化、歴史に触れ、沖縄とは異なる環境で見聞を広めてみるのは如何でしょうか。様々な視点で物事をとらえる視野を身につけ、その地域の人々との触れあいからも多くのことを学ぶことができます。国内留学を通して大学4年間でさらに実りあるものとなり、貴重な財産となるはずです。

● 派遣先

- 札幌学院大学(北海道)
- 桜美林大学(東京都)
- 大東文化大学(東京都)
- 名城大学(愛知県)
- 京都先端科学大学(京都府)
旧:京都学園大学
- 松山大学(愛媛県)
- 熊本学園大学(熊本県)

● 募集時期

募集オリエンテーションなどの詳細については本学ホームページを参照、または学務課窓口へお問い合わせください。

STUDENT INTERVIEW

国内留学体験記



沖縄にはない新しい発見を見つけることができる!

県外の大学に行ってみたいと思い、国内留学制度を利用して熊本県の熊本学園大学に留学しました。コロナ禍でオンライン授業が多かったのですが、そんな中でもアルバイトやサークル活動、長期インターンシップなど様々なことに取り組みしました。特に、夏休み期間に参加した議員インターンシップという議員さんのお仕事に密着するというインターンシップは、貴重な体験を多くすることができ、一番印象に残っている出来事でした。その他にも、沖縄にはない四季を感じたり、熊本の友達といろんなところに遊びに行ったりと沖縄ではできないような体験を沢山することができました。自身を成長させることができる環境なので、ぜひ挑戦してみてください。

みなとがわ るい
港川 琉

地域環境政策学科 4年次
(小祿高校 出身)

留学先
熊本学園大学



留学までのプロセス

留学を希望する方は早めに計画を立て、準備を進めましょう。まずは説明会に参加しましょう♪

海外語学・文化セミナー		国外協定校留学		国内協定校留学
夏期	春期	台湾 韓国	中国 ベトナム フランス スペイン ドイツ アメリカ カナダ	札幌学院大学 桜美林大学、大東文化大学 名城大学、京都先端科学大学 松山大学 熊本学園大学
5月 説明会 申込受付		5~6月 募集説明会 出願・選考試験		
6~7月 事前研修				
8月~9月 セミナー実施		8月 留学内定		
9~10月 報告書提出 帰国報告会 写真展	10月 説明会 申込受付	9~1月 事前研修	10~12月 募集説明会 出願・選考試験	10~11月上旬 募集説明会 学科長面談・出願
	11~1月 事前研修	2月~翌年1月 留学	2月 留学内定	11~1月 学内選考・内定
	2~3月 セミナー実施		4~7月 事前研修	2~3月 協定校にて審議 派遣決定
	4~5月 報告書提出 帰国報告会 写真展	2~3月 報告書提出	8月~翌年6・7月 留学	通年 or 前期 or 後期 留学
			8~9月 報告書提出	10or4月 報告書提出

その他、認定留学や SAF などの留学プログラムがあります。それぞれの制度の詳細については、グローバル教育支援センターまでお問い合わせください。

日程はあくまでも目安となります。詳細については学務課二担当窓口【国内留学】までお問い合わせください。

※「国内協定校留学」は半期若しくは1年間の派遣となりますが、どちらの派遣も上記日程での募集となります

OKIU 青春白書 ~活躍する学生たち~

01



金城 杏奈(妹:左)
Anna KINJO
産業情報学部企業システム学科 3年次
前原高校出身

金城 芽唯美(姉:右)
Meimi KINJO
法学部法律学科 4年次
前原高校出身

フルコンタクト空手を知っていますか？

フルコンタクト空手と聞いて、どのような空手が想像できない人も多いと思います。空手は、対戦相手に「当てない」空手の「伝統派空手」と「当てる」空手である「直接打撃制(フルコンタクト空手)」に大きく分けられるそうです。技の形を重視した伝統空手と対比して、「実践空手」とも呼ばれるそうです。

2022年4月に開催された、第5回極真連合杯世界空手道選手権大会(国際空手道連盟極真会館主催)の女子軽量級部門で、うるま市の金城芽唯美さん、金城杏奈さん姉妹が優勝、準優勝に輝いた。決勝戦で姉妹対決は同大会で初だそうです。早速、金城姉妹に空手を始めるきっかけから今後の展望までお話を聞きました！

極真空手をはじめるきっかけを教えてください

芽唯美さん 私が極真空手を始めたのは、6歳になる直前でした。当時は、格闘技の全盛期(旧K-1時代)で、テレビで当たり前格闘技の試合が中継されていました。それを「見てやりたい!」と言ったのがきっかけですが、両親からは顔面打撃ありの競技は危ない空手をやってみたら? と説得され近くの空手道場を10軒以上も見学しました。何が決め手かは覚えていませんが、自分の意思で今の道場に決めました。そこが今の極真空手うま道場でした。

杏 奈さん 姉が極真空手入門し、初めての大会で優勝してトロフィーをもらうのを見て、私もトロフィーがほしい! というのがきっかけで姉の入門から半年後に私も入門しました。

極真空手の面白さを教えてください

芽唯美さん 極真空手の競技としての面白さはやはり、「直接打撃制」という素手素足で叩き合うことです。どの格闘技でもグローブをつけますが、私たちの競技は防具を一切使用せず体を叩き合うため、体の筋肉や骨の音、内臓の場所まで分かるようになります。その打撃の中にたくさんの技術が隠れており、とても奥深く面白いです。

また、私自身が極真会館沖縄県支部うま道場の責任者ですので、最近是指導する面白さを感じています。私の極真空手を指導するうえでのモットーは「強く、優しい人」です。社会が複雑化している今日、いじめが社会問題になっており、私の道場にも「いじめっ子」「いじめられっ子」が入会してきます。極真空手の稽古を通じて痛みと怖さを知り、その中から心技体を鍛えた子どもたちは、本当の意味での強さと自信を身につけ、「強く、優しい人」に成長していきます。そこが極真空手の教育としての面白さだと感じます。

杏 奈さん 空手は大きく「伝統派空手」と「フルコンタクト空手」に分かれます。極真空手は、フルコンタクト空手の流派で 組手を中心に競い合う大会を多く開催しています。極真空手の大会は、他の空手と違って、素手素足の防具なしで直接体に打撃を打ち込み、その打撃の大きさと忍耐力で競い合います。どの競技にもない迫力のある体と体のぶつかり合いが面白さだと思います。実際に試合を見たり、練習してみたりすると、人間ってここまで強くなれるんだ、と感じると思います。



世界選手権に向けてどのような準備をしましたか？

芽唯美さん 世界大会に向けての生活は、朝から大学にいて、夕方からは道場で子供たちの指導、夜は自分自身の練習という生活を繰り返していました。また、授業がない日は妹と一緒にトレーナーさんの元でフィジカルトレーニングを行っていました。

コロナ禍ということもあり、大学・空手・トレーニング以外はほとんど外出せず、体調管理や体重管理を徹底していました。

春休みは追い込み練習に入り、今でも思い出したくないほどの辛いトレーニング、練習後は姉妹で対戦相手の分析、県外にいる先輩方のもとで稽古と、とても充実した練習環境でした。

ただ、私はお酒が好きなので、友だちと飲みに行けないことと、試合前の禁酒期間が1番辛かったです(笑)。

杏 奈さん 世界選手権は2023年4月8日に開催されたのですが、春休みからあけたばかりでしたので、休み期間は一日中、空手に没頭することができました。

その時のスケジュールは、朝から専属のトレーナーとのマンツーマントレーニングから始まります。これがとても辛いトレーニングで足がつるのが日常茶飯事でした。そして、夜からは自分たちの練習が始まります。世界大会までの練習は、普段の練習の何倍も負荷を上げて追い込みをしました。練習後は、さらに負荷をかけた追い込み練習や、姉妹で互いの対戦相手の動画を見て研究したりと、毎日空手に埋め尽くされた春休みでした。

また、世界選手権に向けたものは練習だけでなく、体調管理も徹底しました。体調を崩してしまうと練習ができなくなりブランクができるのが嫌だったので、人混みを避け、世界選手権直前は外に出かけることもしませんでした。

自宅からトレーニング施設、そして道場、練習後はまっすぐ帰宅するという日々を過ごすことでベストコンディションの状態の世界選手権に望むことができました。

姉妹対決を終えての感想を教えてください

芽唯美さん 史上初の世界大会での「姉妹決勝」という偉業を残せるととても嬉しいですし光栄なことでした。大会当日、遠い横浜まで私たち姉妹の応援団が80名以上もかけつけてくれました。決勝へのプレッシャーと、沢山の応援を全て力に変え、自分の持っている以上の力を大会で出せたと感じています。



そして、ずっとこだわり続けたことがあります。それは、私たち姉妹の師匠である故喜久山泰道先生と最後に約束した「世界大会での姉妹対決」でした。先生は2020年5月26日に36歳という若さで亡くなりました。若かったのでやりたいことがたくさんあったと思います。私たち姉妹は先生から受け取ったバトンと約束を胸に世界大会にこだわり稽古をしてきました。世界大会での姉妹対決を掴みとった時は、言葉では言い表せない嬉しさ、達成感、そして師匠をはじめこれまで応援してくださった方々への感謝の気持ちになりました。

この4年に1度の世界大会という大舞台でこのような結果が残せたのも、応援していた皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

杏 奈さん 全国大会で1度だけ、高校生の頃に姉妹対決が実現したことがあります。ですが、一般の部になってからは、どちらかが負けてしまって決勝に進めずにいる、なかなか姉妹対決は実現しませんでした。

世界大会でやっと！姉妹対決を達成することができました。とても長い道のりでしたが簡単ではありませんでしたが、素直に二人で無事に勝ち進むことができ嬉しかったですし亡くなった師匠との約束を果たせたと思いました。

姉である芽唯美は、幼い頃からフルコンタクト空手で共に切磋琢磨してきた仲間であり戦友です。その姉と決勝戦で対峙した時、お互いファイナリストに残れたことは、私たち二人で叶えたことではなく、現地まで応援に来てくれた総勢約80人の応援団の方々のおかげで感謝の気持ちが溢れました。私は姉に負けてしまいましたが、他の誰かに負けるのではなく姉に負けたことに意味があり、すごく嬉しいような悔しいような、でも最後は幸せな気持ちでした。

今後の展望を教えてください

芽唯美さん 沖国大に沖縄初のフルコンタクト空手道部を創設すること、そしてインカレの優勝旗を沖国大へ持って帰る事です。

伝統派の空手は学校で部活動として浸透し、東京2020オリンピックにも採用され、ご存知のとおり沖国大出身の喜友名諒選手が金メダルを獲得するという快挙も達成しました。それに比べ、私たちフルコンタクト空手は競技人口が多いにも関わらず部活動として浸透していないので、頑張っても学校側から支援を得られることが多くないと感じています。そのため、未来のある選手も金銭面や進学、就職面で学校からの手厚い支援のある他の競技(部活動)に流れ、途中で辞めてしまうことが残念な気持ちでした。そこで、フルコンタクト空手を創部することで、大学でも競技を続けたいと考えている後輩の受け皿になりたいです。そして、他の体育系部活動と同じように大学からの補助を受け、活動を積極的に行うことで就職活動の幅が広がり、大学全体から応援してもらえるような環境を整えることを目標にしています。

私は、19歳からうるま市で空手道場を経営しています。80名以上の生徒と共に日々稽古に励み2年目の今年、日本代表が3名誕生、全国入賞の中高校生も3名輩出しました。私たち姉妹を慕い、宮古島や石垣島の離島からフルコンタクト空手を習う後輩たちが私の道場へ移籍してきています。また、「沖国大で空手がしたい!!!」と、受験勉強を頑張っている高校生がいます。その後輩たちと、全日本学生選手権(インカレ)で、「沖縄国際大学」の名を背負い、優勝旗を持ち帰り、全国へ沖国大の名を轟かせたいです。

私は卒業するので後輩たちと一緒に闘うという夢は叶いませんが、これからの沖縄フルコンタクト空手を習う後輩のためにも、そして沖縄国際大学の益々の発展のためにも、部活動が創設されたら全力でサポートしていくつもりです。

そして、私たち姉妹はフルコンタクト空手を沖縄から変えるという大きな目標達成のため、これからも全力で空手に取り組んでいきたいと思っています。

杏 奈さん 沖縄県にフルコンタクト空手を習う子どもたちが増えるようにその普及にも力を入れたいです。そのためにも、私たち姉妹が中心になり、沖縄国際大学にフルコンタクト空手部を創部し、全国制覇をすることで、沖縄国際大学で空手を頑張りたい!と思う後輩たちが増えることが沖縄県にフルコンタクト空手の普及の足掛かりになると考えています。姉も話していますが、石垣島や宮古島から多くのフルコンタクト空手を習う後輩たちが、私たちの道場に移籍してきており、沖縄国際大学でフルコンタクト空手をしたいと熱望しています。その願いに応えるためにも沖縄国際大学にフルコンタクト空手部を創り、皆の力で沖縄国際大学の名を全国に轟かせたいです。



OKIU 青春白書 ~活躍する学生たち~

02



仲村 姫乃
Himeno NAKAMURA
経済学部経済学科 4年次 普天間高校出身

常に最善の選択肢を考えチャレンジを続け

「諦めない自分」を追求したい!

仲村さんは、ダンロップ2DAYS九州女子学生ゴルフ(九州学生ゴルフ連盟主催)2連覇など、輝かしい成績を残しました。この結果は順調に映りますが、その裏では同大会を仲村さんは一人で準備から移動までを行ったそうです。それ以外の大会でも、サポートが少ない中で、工夫しながら結果を残してきたそうです。

そこで、仲村さんにゴルフを始めたきっかけから、今後の展望までインタビューで迫りました!

ゴルフを始めたきっかけから教えてください

小学校3年生のころ、祖父が家の近くのゴルフレンジに連れて行ったのがきっかけです。その後も、家族でバッティングセンターのように遊びに行きました。

ゴルフレンジにはジュニアで活動している同世代の子たちもあり、その姿を見て、「自分もやりたい」と祖父に伝えたところ、翌日にはゴルフクラブが準備されていました(笑)。

練習を始めてみてどうでしたか?

最初はすごく楽しかったです。ゴルフアカデミーに入ると、同世代のジュニアの子たちと友だちになり、一緒にゴルフをする楽しさを感じ、どんどんはまっていきました。ただ、ゴルフに競技として向き合い始め、勝つことが重点になると、苦しさも感じるようになりました。

ゴルフの魅力は何ですか?

それは、「頭を使うスポーツ」だと感じているからです。同じゴルフ場でも、天候や芝の状態、自分のコンディションなど毎回条件が違う中で、さまざまなことを計算し最善と思える選択をし、その結果、最短でカップインできたときは、最高です。それが魅力だと思います。

ゴルフに向き合う時に

心がけていることはありますか?

自分の考えだけで進めるのではなく、必ず周りのアドバイスを聞き、色んな選択肢を考えて、最終的に答えを出すよう心がけています。これは、私の中ですべてに当てはまるかもしれません。



すべてに当てはまる、というところをもう少し聞かせてください

父が自営業で、自分で様々なことを調べながら経営している姿を見ています。さまざまなことを聞き調べて自分で選択するという姿勢は生きるうえで大事なことであり、すべてに当てはまると感じ、ゴルフ以外でも周りの意見を聞き、自分で選択するようにしています。

ゴルフを通じて得たものは?

勉学とゴルフ、バイトなど全てを両立させるために努力し続けることで、メンタルが強くなりました。また、九州学生ゴルフ選手権競技や九州女子学生ゴルフ選手権は他大学がチーム参加の中、本学からは私のみのため、準備から移動などすべて一人でこなします。その中でトラブルとかもあり失敗の連続でしたが、失敗を重ねながら一人でやり遂げることで成長と自信になり、さまざまな大会で優勝を勝ち取っていると感じています。正直、他大学の選手より私の方がメンタルが強い!という自信があります(笑)。

これからの抱負を聞かせてください!

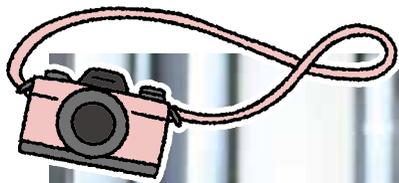
プロゴルファーになることです。

ジュニア時代、大会などでさまざまな場所に送迎してもらいました。現在も活動を続けられているのは、家族の支えと応援があるので、私は恵まれています。

また、バイト先の方々からの理解もあり、練習や大会でシフト調整をしていただいています。家族をはじめ、応援してくれる方々に恩返しをしたいのでプロゴルファーへの夢はとても強いです。

最後に読者へ一言!

大学はとても自由で、自分の好きな道を選択できる場所です。やりたいことはチャレンジして経験を積みながら考えてみることもいいかなって思っています。また、チャレンジしながらも、今のことだけでなく、先のこともよく考えて行動することが大事と伝えたいです。



Taku HESHIKI

平敷 卓

経済学部経済学科 准教授

OKIU

研究室探訪

経済学を知ることは、自分の置かれている社会や環境をさまざまな観点から知る

みなさんの中に、「経済学」と聞くと、株価、商売などの世の中のお金の流れという漠然としたイメージを持つ人は多いと思います。そして「経済学」は難しいと思っている人は多いと思います。

そのような難しい経済学を教えている先生は、どのタイミングで経済学が面白く感じるようになったのでしょうか？また、経済学の魅力とはどのようなところにあるのでしょうか？今回は、経済学科の平敷学科長のライフストーリーを伺いながら、「経済学を知る」ことのメリットなどについてお聞きしました。

大学に入学するまではどのように過ごしていましたか

親が教員だったので、中学・高校は、朝6時に起床し、慌ただしく身支度を整え、車の中で朝食をとり、7時頃にはもう学校に到着している生活でした。人がいない学校でボーッと考えごとをして過ごしていました。その頃に見ていた風景は今でも思い浮かびますし、その時間が結構好きでした。大学時代も講義があるときは早めに大学に行く生活をしていましたし、社会人になっても早くから職場に入る生活は変わっていません。習慣化していることで、朝から動くことに抵抗することなく、助けられている面もあります。

小・中学校は読書好きで戦国武将の自伝や歴史物、江戸川乱歩などの推理小説を中心に読んでいました。部活は文化系で将棋倶楽部に所属していましたが、高校生からは新しいことをチャレンジしたいという気持ちから、バレー部に入部しました。

勉強面では、倫理や政治経済の分野が好きでした。特に、思想とか哲学にすごく惹かれました。今でもソクラテスやプラトンの書籍は紀元前の書かれたことですが、現代にも通じる国や政治のあり方に繋がるような、普遍的な命題を扱ってると魅力があると感じています。哲学とかだと、「答えのない問い」への魅力、ひいては、今も変わらない個人と社会の関係を広く扱う政治哲学とか経済思想などへの関心から、経済社会の仕組みに関心を広げていった、と感じています。



経済学に興味を持ち始めたきっかけを教えてください

小学校から高校まで、環境問題に強い関心をもっていました。私が幼少期だった1980年代は、酸性雨や地球温暖化とかのニュースから興味が強くなり、ニュートンなどの科学雑誌を読んでいました。高校は理系の学科に進学したこともあり、大学は環境工学、社会工学など文理融合の学科に進学し、社会問題を「技術」で解決するというアプローチがしたいと思っていました。

ただ一方で、解決に役立つ技術があるとしても、社会で実装されていない現実があることもわかっていました。実装されないところにある人間の技術や社会の問題、場合によっては経済的なハードル、利害関係などを含む政治的な問題が潜んでいることに気づき、社会と「お金」に関連することに関心を持ち始めました。

そこで、横浜国立大学の経済学科に進学しました。社会科学としての経済学を学んでいくうちに、思想史を含め、心理学、政治学、行政学、広くは文化人類学や歴史学までつながっていくことに気づきました。どの時代・地域においても社会において経済行為は普遍的に存在しており、個人が社会的な関係構築において、モノや貨幣に限らず、何かを与えたりもらったりするという交換行為が時代を超えて存在しています。経済学は、個人の「幸せ」への希求と社会全体の厚生の上に向けて、さまざまな考え方があることを踏まえながら、社会の中で生きる人間の振る舞いについて、さまざまな視点から考えアプローチすることが魅力と感じています。

研究者を目指したきっかけを教えてください!

研究者への道は高校から抱いており、当時の文集にも書いていました。実際に経済学を深く学び研究したいと思ったのは、大学時代のゼミの担当教官の影響です。

指導教官は金澤史男先生という財政・財政学と日本経済ないし日本資本主義発達史の研究をされている方でした。先生の方針で、ゼミは地方出身の学生を多く在籍させており、私の代は北は青森から南は私の沖縄まで各地の出身者で構成されていました。出身者の地域が抱えている経済社会問題を切り口にして、それら課題を素材とし、行政を含む地域・民間のさまざまな利害関係者がどのように関わるか?という大きなテーマとして扱っていました。

在学中、沖縄でゼミ合宿がありました。当時、沖縄県で普天間基地返還合意後の基地整理縮小の機運の高まりがある中、沖縄の基地問題や沖縄振興について私自身が深く考えるようになった一方で、本土においては相対的に興味・関心が薄いというギャップの大きさなども肌感覚で感じ、研究への思いが強くなり、そのまま横浜国立大学大学院に進学しました。大学院では、国と県、市町村間の財政関係を中心に扱っていましたが、沖縄県の経済的な課題を念頭におきつつ、地域経済の自立とは何か、また自立に向けて求められる政策とは何かという問題関心から、沖縄振興を巡る財政関係などをテーマに研究していました。

また、金澤先生の研究者としての在り方にも影響をうけています。先生の、問題や課題に直面する主体としての「個人」とともに企業を含む「組織」や「公共（自治体や政府）」の関わり方、各々の役割などを考える中で、関係性を俯瞰しながら、問題解決への糸口をみつけるというアプローチに惹かれ、個別利害から比較的自由な立場をとれる学問的なアプローチに惹かれていました。そして、学問は立場の弱い人のためにあるということ、すなわち、研究者は立場が弱く埋もれてしまう声を掬い上げる役割を果たすという立場をとり続け研究をつづける意義として先生が捉え、在り続けたことも、私の研究者としての生き方にも大きく影響しています。



大学院を修了後はすぐに大学で教鞭をとりましたか?

大学院を単位取得退学後は東京の民間コンサルティング会社に入り、官公庁の事業を手伝う仕事に就きました。私の関わったプロジェクトでは、当時の環境省や農林水産省が主導する、再生可能エネルギー導入による地域活性化・自立化を高める事業や農業分野における脱炭素に向けた環境保全型農業の導入推進など、昨今の持続可能な社会を築くためのさまざまな取組につながる仕事の一端に携わることができました。今でいうところのSDGsにつながる取組です。

コンサルティング会社における地域課題へのアプローチは、方策とか解決策が確立されていない未知なる問題や課題に対して委員会を立ち上げて、専門家の意見を伺いつつ、実際に事業に展開しながら地域の人々と関わりました。委員会ではさまざまな人々の考え方をまとめつつ形にしていきました。この仕事では、地域課題に、現場目線で関わることの楽しさ、難しさを学んでいましたが、期限が決まっていること、予算も年度毎というビジネス的な制約もあり、中長期的に関わりたい、制約のない中立的な立場から提言できるアカデミック（研究職）の重要性も実感するようになりました。また、ビジネスの現場では、大学教員のように研究に時間をかけて向き合えることが難しいこともあり、大学教員を目指しました。

経済学の魅力を教えてください

経済学という大きな枠で考えると、自分の立場を確認して、何ができるかを選択し、そこに動くお金がどのように配分され、結果的にそれがどのような結果をもたらすか、どういう問題を残すのか、ということを考えることが魅力かもしれません。かなり抽象的ですけどね。

その経済学でも私の研究テーマである、地域経済や財政にひきつけてお伝えすると、先ほどもお伝えしたとおり、沖縄県の経済的な課題を念頭におきつつ、地域経済の自立とは何か、また自立に向けて求められる政策とは何かという問題関心があり、大学院では沖縄振興を巡る財政関係などを考えていくことが楽しいです。

沖縄県の財政は、一般的に補助金依存のイメージがありますが、他都道府県との比較においては条件不利地域における公共事業に依存した一地方という意味で捉えることもできるものの、戦後の経済復興の初期条件の違いから生じている問題（多くの米軍基地を抱える現状など）や沖縄振興を巡る諸般の政治経済状況の変化を踏まえて捉える必要もあります。沖縄経済の過去と現在を紐解き、沖縄が主体的に未来について策を考えるという意味で非常に意義のあるテーマと考えています。

最後に学生にメッセージをお願いします

「学ぶこと」の目的は良く、「将来の選択肢を広げるため」という言葉でまとめられることもあります、必ずしも目的があって学ぶのではなく、「学ぶこと」そのものの楽しさや面白さに気づくことがより重要、と私は考えています。その意味で「学ぶこと」は目的にもなりえます。自分の状況・環境に応じて「学ぶこと」を楽しむことができれば、どのような道でも可能性を拓くことができると考えます。

将来のビジョンが描けず、不安を感じる人も多いと思いますが、まずは「学ぶこと」の楽しさを再確認する場所として、経済学科への進学や学びに励むことをお勧めします。

学びを通じて、自己理解を深めることは、結果として、自己成長につながると考えています。学びの果てには以前とは異なる視点から世界を観ていることに気づくと思います。

ただし、「学ぶ」ことの前に、現状維持での快適さや、未知への恐れといった壁が存在します。また「学び」に取り組んでも、理解が追い付かず、苦しい時期もあり、その先にある楽しさに会うには時間がかかるかもしれません。その意味で経済学は、さまざまな社会科学分野に関連する知見やエッセンスを取り込んだ汎用性の高い学問で、皆さんの「学び」のきっかけを作り、興味・関心を広げ、最初の壁を乗り越えるサポートできる学問領域だと思います。現代は、さまざまな知識やスキルを求められ、何かと学び続ける必要がある時代です。しかし、そのような社会の要請に応じるだけでなく、皆さん自身の成長のための「学び」をサポートできればと願っています。



平 敷 卓（へしき たく） 経済学部経済学科准教授

横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程後期 単位取得退学
民間のコンサルティング会社を経て2014年に本学に着任。
研究分野は、地域経済、沖縄経済、離島経済・財政、
担当科目は、沖縄経済論、地域経済論、福祉国家論など。



OKIU 2023 FESTIVAL

52nd

第52回沖国大祭レポート

Report

2023年11月25日と26日の2日間にわたり、沖国大祭が開催されました！
 今年度は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、4年ぶりに通常規模の大学祭が戻ってきました。
 コロナ禍が明けた今年の大学祭のテーマは、「～響喜嵐舞～」。
 教室棟では、学生たちの日頃の課外活動成果が作品展示等で披露されました。屋外では、広々とした中庭には出店が立ち並び、体育館ではライブやダンスなど、活気と笑顔ある雰囲気学内に満ちあふれた大学祭となりました。



屋内
コーナー

屋内では、感染対策をしながら、展示や朗読劇を披露し、見て、聞いて、楽しめる空間となりました。

Team Sky 沖国



eスポーツサークル



茶道部 (お茶会体験)



書道部



現代アート研究部



メインステージはグラウンドに移動して、エイサーの演武！

メインステージ 1 日目

メインステージは、体育館にてたくさんの団体の演舞やアーティストによるライブが行われました。また、エイサーは場所を移して、中庭でも演武を行いました。



琉球風車



メインステージのトップバッターは琉球風車。素敵な歌と踊りの幕開けを飾りました！



ヒリカウタ! (芸能サークル)



OKIU グルメ・グランプリ

大学祭では、「OKIU グルメ・グランプリ」と称して、模擬店の中で出店した団体から、グランプリを決めています。

1日目はエントリー団体からの告知が行われました！



中庭に移動して、エイサーの演武！



鼓舞楽団 浦風



琉球風車



他にも、本館前では、ossf のダンスバトル、スポーツ同好会 3on3、お化け屋敷などが開催されていました。



学生環境委員会のメンバーによる
ゴミの分別



昨年度の大学祭からの課題で、飲食のゴミの分別があります。そこで、学生環境委員会の学生が中心となり、大学祭で発生するゴミの分別指導を行いました。

メインステージ 2 日目

2 日目は天気にも恵まれ、多くの方々に来場いただきました。メインステージでは、Ms.Mr.コンテスト、OKIUグルメ・グランプリの発表などもあり賑わっていました。



2日目のオープニングは吹奏楽部の皆さんからスタート!



吹奏楽部

OSSF



Youth



小雪

Ms.Mr.OKIU CONTEST

沖国大祭の人気プログラムの一つでもあるMs.Mr.コンテストでは、グランプリに當山藍菜さん(企業システム学科2年次)と長嶺旭徒さん(英米言語文化学科1年次)が選ばれました。ステージ上には美男美女が集い、とても華やかなプログラムとなりました。



OKIU グルメ・グランプリ

エントリーした出店の中から、1位「Uni」、2位「ちゅらんぷ」、3位「からあげです!」が選ばれました!



メインステージでは他にも、「汐花」、「Hilcrhyme」、「RITTO」、「SIMBASPICE」、「D-51」などのアーティストをスペシャルゲストに迎え、ライブ演奏やパフォーマンスが行われました。アーティストのみならず、沖国大祭を大いに盛り上げて頂きありがとうございました。

日頃、練習に励む芸能系サークルに所属する学生たちにとっては素晴らしい刺激になり、同じ舞台に立てたことが喜びとなったことでしょう。

模擬店

大学祭の代名詞ともいえる「模擬店」。課外活動団体が出店し、連日多くのお客さんで賑わっていました！専用の飲食スペースで食べ比べを楽しまれていました。



フィナーレ

最後は、本学が誇る二大エイサーサークルの「鼓舞楽団 浦風」と「琉球風車」が、グラウンドにてエイサー演舞を披露しました。最後はカチャーシーのあと、打ち上げ花火で終了しました。



2023年度第52回沖国大祭のお礼とお詫び

去る11月25日(土)、26日(日)に行われました「第52回沖国大祭」に多数のみなさまにご参加を頂きましてありがとうございました。

また、沖国大祭を開催するにあたり地域住民の方々・関係者の皆様には、いろいろと協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

しかしながら、沖国大祭において大学周辺の混雑や騒音が生じた事に関しましては、大学近隣にお住いの方々に多大なご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。

今回、沖国大祭の実施に関しましてご指摘いただいた点につきましては、次年度以降の計画に取り入れ、反省の気持ちをもって改善に努めて参る所存でございますので、引き続き温かいご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に、大学祭の実施につきましては、課外活動の成果発表、地域住民および大学生相互の親睦を心がけておりますので、地域住民の方々・関係者の皆様には今後とも何卒ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月30日
沖国大祭実行委員会

学生を主役に据え、学生に寄り添い、

研究成果を携え、地域をまなざし、地域に耳をかたむけ、

沖縄と本学の50年の歴史を理事長・学長として結びなおし、

本学の原点に立ち返り、本学の飛躍を願った。



追悼 前津榮健 理事長・学長

第12代・第13代 前津 榮健 理事長・学長は、入院加療中でしたが、令和5年10月25日に急逝いたしました。享年68歳でした。

1992年法学部講師として採用され、沖縄法政研究所所長や法学部長などの要職を歴任、2016年より第12代理事長・学長に就任され、現在は二期目で2024年3月までが任期でした。

理事長・学長としての特筆すべき功績は、学生会館の建設、コロナ禍におけるオンライン授業への転換や修学支援奨学金などの学生支援、そして本学創立50周年事業を取りまとめ無事に終了させたことです。

学生会館建設では、課題であった福利厚生施設の充実を図るため、学長就任2年目の2017年度に建設準備委員会を立ち上げ、学生へのアンケート調査結果をもとに、建設規模、施設機能、予算、建設場所などの議論を重ねて学内手続きを進め、2021年3月に供用開始しました。

新型コロナウイルス感染症への対応では、誰もが経験したことがないパンデミックの中、危機管理対策本部の本部長として学生・教職員の「健康と命」を守ることを最優先に据え、オンライン授業への転換、パソコン等の貸出、特例授業修学支援奨学金を創設し、すべての学部生および大学院生に奨学金を給付するなど、日々発生する様々な事案に対し強いリーダーシップで臨みました。

本学創立50周年事業では、本学の原点にこだわりながら、創立50周年記念式典、50年のあゆみ記録サイト、国際交流事業など、さまざまな記念事業にリーダーシップを発揮されました。また、本学の設立に多大なご尽力をされた大濱信泉先生の肉声为本学に保存された資料から発見され、その音声資料の写しを、地域貢献の一環として大濱先生の出身である石垣市に寄贈されました。このように、本学創立50周年事業では一貫して、



採用当時の前津先生(1992年)



ゼミ(2007年1月)



新型コロナウイルス感染症にかかる対応と特例授業修学支援金等について記者発表(2020年6月)



学生会館新築工事竣工式典(2021年3月)



創立50周年式典(2022年2月)

本土復帰の年に開学し「沖縄における私立大学」として沖縄と共に成長した本学のあゆみを、「地域に根ざし、世界に開かれた大学」というキャッチフレーズに結びなおし、本学の存在意義にこだわり続けました。

また、社会貢献活動ではご専門である行政法・地方自治法の知見をもとに、県内各自治体の情報公開条例策定へのご助言、沖縄県町村会が発行する広報誌『自治おきなわ』にて自治体関係者からの聞き取りを1995年1月号から継続して行うなど、研究成果を社会へ還元することにも積極的に取り組んでこられました。

このようなご多忙の中でも、よく口にされた「授業することが教員としての生きがい」の言葉のとおり、学長業務と並行して変わらず学生の教育および大学院生の指導を実践しておられました。特にゼミ教育に力を注ぎ、病気療養中でも学生一人ひとりへ指導を継続して行なっておりました。

これまで前津榮健理事長・学長のご功績に改めて感謝いたしますとともに、謹んでお悔やみお祈りいたします。



大濱信泉先生の肉声を石垣市に寄贈(2022年6月)



『自治おきなわ』聞き取りを恩師仲地先生と



行政法授業中

故 前津榮健理事長・学長「お別れの会」を執り行いました

2023年10月25日にご逝去されました故 前津榮健理事長・学長の「お別れの会」を12月17日(日)、本学講堂兼体育館にて、約230名のご臨席のもとしめやかに執り行いました。

当日は、ご遺族、県内外の大学の理事長や学長をはじめとするご来賓、本学教職員、教え子など、多くの方々にご臨席いただきました。開会の辞のあと、臨席者全員による黙祷が捧げられ、鶴池幸雄常務理事の主催者代表挨拶が行われました。続いて、名誉教授称号記及び勲記・勲章・位記の授与(正五位瑞宝中級章)、安里肇副学長、上地哲誠後援会会長、友利博明校友会会長、恩師の仲地博先生(元沖縄大学学長)による弔辞、ご遺族代表挨拶が行われたあと、最後に臨席者による献花が行われました。



名誉教授称号記及び勲記・勲章・位記の授与(正五位瑞宝中級章)



安里肇理事長・学長職務代行者(理事・副学長)

上地哲誠後援会会長

友利博明校友会会長

恩師の仲地博先生(元沖縄大学学長)



また、会場の一角では、前津理事長・学長の採用当時からこれまでの足跡をたどったスライドショーが上映されました。ご臨席の方々立ち止まれ、在りし日の前津理事長・学長に想いを馳せ、前津先生との別れを惜しまれておりました。



経歴一覧

- 1955年生 石垣市大浜出身
- 1978年3月 琉球大学法文学部卒業
- 1983年3月 明治大学大学院法学研究科 修了

職歴

- 1992年4月 沖縄国際大学法学部講師
- 1996年4月 沖縄国際大学法学部助教授
- 2000年10月 沖縄国際大学法学部教授

学内

- 2003年4月～2005年3月 沖縄法政研究所所長
- 2008年4月～2014年3月 法学部長
- 2016年4月～2020年3月 第12代沖縄国際大学理事長・学長
- 2020年4月～第13代沖縄国際大学理事長・学長

研究分野

行政法、地方自治法

創立50周年記念式典

沖縄国際大学校友会



2024年
2月24日(土)



記念植樹・記念碑

2024年2月20日(火)、学生会館前にて校友会創立50周年の記念植樹と記念碑の除幕式が行われました。

植樹は4種類で、これら樹木は開花の時期が異なるようで、より四季を感じられる大学環境の一助と母校の更なる発展を願って植樹したそうです。



本学講堂兼体育館において「沖縄国際大学校友会 創立50周年記念式典」が挙行されました。本学からは、安里肇理事長・学長職務代行者(理事・副学長)、鵜池幸雄常務理事、伊佐裕事務局長が出席しました。

式典では、記念映像の上映からスタート。校友会50年の道程に想いをはせる幕開けとなりました。安里理事・副学長は祝辞の中で、これまでの校友会からの多大な援助への感謝とこれからも揺るがない協力関係の継続について述べられました。

2023.04.01

令和 5 年度入学式を執り行いました

2023年4月1日(土)、本学講堂兼体育館において、第52回沖縄国際大学入学式・第27回沖縄国際大学大学院入学式を執り行いました。

式典の中で前津榮健康学長は「コロナに翻弄されたとても辛い3年間であったものと推察いたします。本日の入学式を迎えることができましたのは、皆さんの努力の結果であると同時に、大学・大学院進学を理解し、励ましてくれたご家族、そしてご指導頂いた先生方をはじめ多くの方々のお陰であるということ改めて深く胸に刻み、感謝の気持ちを持ち続けて下さい。」と式辞を述べられました。

また、新入生を代表して、総合文化学部英米言語文化学科の川上大翔さんが「日々学業に精励し、学生としての本分を全うすることを誓います。」と新入生宣誓を行いました。

各学部長および大学院研究科長から入学許可申請の後、前津学長より入学許可がなされ、学部生1,319名(編入生含む)、大学院生23名が晴れて沖国大の学び舎で大学生活をスタートさせました。



2023.04.14

Welcome Party を開催しました！

2023年4月14日(金)に、新しく入学した学部留学生や外国人科目等履修生、交換留学生のWelcome Partyを開催しました。

Welcome Partyでは、留学生の自己紹介やゲームなどを行い、最後は「ピリカウタリ」による余興で盛り上がりました。

Partyには、前津榮健康学長、兼本敏グローバル教育支援センター所長ほか、在学生、教職員にもご参加いただき、留学生と親睦を深めました。



留学生から、「新しい友達ができたい！」「参加してよかった！」との感想もあり、コロナの影響で長い間中止になっていたイベントを再開できました。



2023.04.17

本学図書館「米軍ヘリ墜落事件関連資料室」へ「書」のご寄贈がありました

2023年4月17日、書家の泉朝信氏(故人)のご家族から本学図書館「米軍ヘリ墜落事件関連資料室」へ「書」をご寄贈いただきました。2004年8月13日、米軍ヘリ墜落のニュース映像を目の当たりにした泉氏が、その場で揮毫したもので、「書」のタイトルは「墜」です。

「墜」制作年 2004年
作者 泉 朝信
(いずみ ちやうしん、1937~2015)

那覇市生まれ。沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。沖展会員、沖縄県芸術文化祭審査員、日本書作家理事審査員、西安碑林国際臨書展審査員、沖縄県書作家協会木筆会副会長、曹源書道会理事、龍玄書芸会会長、沖縄タイムス芸術選考委員、西安碑林博物館名誉教授を務める。

2023.04.19

公益財団法人 金秀青少年育成財団大学生奨学金給付式に参加

2023年4月19日、那覇市の金秀本社において公益財団法人金秀青少年育成財団の奨学金給付式が行われました。

本学からは安里肇副学長が出席いたしました。平成29年度から毎年交付いただき、これまでに24人の学生に支給されました。多額の奨学金を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

頂戴いたしました奨学金は、学生支援に有効に活用させていただきます。

「公益財団法人金秀青少年育成財団大学生奨学金」
目的：青少年が心身ともに健やかに生まれ育ち、次代を担う有為な社会人として成長していくために必要な援助を行い、もって社会的貢献を果たすことを目的としている。

2023.05.21

第109回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会決勝リーグで硬式野球部が準優勝

硬式野球部は、5月19日(金)から21日(日)まで、沖縄セルラースタジアム那覇で開催された「第109回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会決勝リーグ」に出場し、準優勝を果たしました。

本大会では、前津榮健康理事長・学長が大会会長を務め、本学硬式野球部の主将でエースの古堅瑞樹さんが選手宣誓を行いました。



第1試合開始前には、前津理事長・学長が始球式を務めました。

試合結果は以下のとおりです。
大会1日目第2試合
沖縄国際大学 vs 東海大学九州キャンパス 6-0
大会2日目第1試合
沖縄国際大学 vs 鹿屋体育大学 0-2
大会3日目第2試合
沖縄国際大学 vs 宮崎産業経営大学 4-2

【個人賞】
敢闘賞 古堅 瑞樹(社会文化学科 4年:宮古高校出身)

2023.05.31

「第41回九州学生ゴルフ選手権競技」と「第21回九州女子学生ゴルフ選手権競技」において仲村姫乃さん(経済学科4年次)が初優勝！

2023年5月31日、長崎県雲仙市の愛野カントリー倶楽部で開催されました「第41回九州学生ゴルフ選手権競技」と「第21回九州女子学生ゴルフ選手権競技」において仲村姫乃さん(経済学科4年次)が初優勝しました。本学から九州女子学生ゴルフ選手権で学生女王は初の快挙です。仲村さんは昨年度もこの大会に出場し準優勝していません。

今大会には、男子は49人、女子は20人の選手が出場し、本学からは男子は青川栄太さん(地域環境政策学科2年次)、女子は花城梢さん(経済学科4年次)、石原渚沙さん(経済学科1年次)も出場しました。

この結果、優勝した仲村さんは「第59回日本女子学生選手権」の出場権も獲得しました。



2023.06.13

FPT 大学(ベトナム)と大学間交流協定を締結しました

本学は、国際交流促進事業の一環として、FPT 大学(ベトナム)と大学間交流協定(2023年3月10日付)を締結しました。

FPT 大学は、ベトナムのトップ企業である「FPT コーポレーション」によって2006年に設立された大学です。FPT 大学はベトナムにおいて非常に大規模かつ教育内容も充実しており、日本語教育への取り組みも行われています。また、情報技術やビジネス関連の優れたカリキュラムを有し、日本への留学希望者も多いため、両大学間の活発な交流が期待されます。



2023.07.02 / 07.16

オープンキャンパスを開催しました！

2023年7月2日(日)、16日(日)にオープンキャンパスを開催しました！
 今年は4年ぶりに人数制限を設けない形式で開催し、多くの来場者の皆様にご参加頂きました。
 また、コロナ禍で運行を中止しておりました無料送迎バスも再開し、高校生が気軽に参加できるようにいたしました。



両日ともに天候に恵まれ、学科紹介や体験講座、大学生によるキャンパスツアー、保護者向けガイダンス、個別相談、サークルアトラクションなどさまざまなプログラムを実施し、来場者が“沖国大”をより身近に感じれる機会となりました。

オープンキャンパスにご来場いただきありがとうございました。



2023.08.13

「普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつぐ集い」を開催しました

2023年8月13日(日)午後2時より、「普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつぐ集い」を開催しました。

2004年8月13日の米軍ヘリ墜落事件から19年目を迎えます。

事件を風化させないために、本学では毎年「普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつぐ集い」をポケットパーク(ヘリ墜落現場モノUMENT)前にて開催しています。

今年度は、約60名の参加がありました。

集いでは、前津榮健理事長・学長による、普天間基地の閉鎖・撤去を求める旨の声明と、学生を代表し法学部法律学科2年次の仲宗根桜さんと法学部地域行政学科3年次の新垣友貴さんによる意見発表をおこないました。



2023.09.13

経済学科：明治大学の学生と合同ゼミを開催

経済学科の高哲央先生のゼミナールが、学生のゼミ活動での研究成果を発表する場として、2023年9月13日(水)、本学にて明治大学との合同ゼミを開催しました。今年度は、明治大学政治経済学部の下斗米先生のゼミと宮崎先生のゼミの3・4年次が来校し、合計70名ほどの参加人数となりました。

合同ゼミでは、ゼミ毎にグループ研究の成果を15～20分ほど発表し、グループディスカッションにより議論を深めた上で、質疑応答が行われました。ゼミによって専門分野が異なるため、普段触れることのない分野の発表や、異なる視点を持つ学生とのディスカッションは、学生たちの視野を広げる良い機会となりました。



全7グループによる発表後に、参加者による最優秀賞を決める投票が行われました。投票の結果、最優秀賞には本学経済学科の藤原涼さん、伊佐幸太さん、長嶺優奈さん、饒平名琉真さんによる「現代沖縄と米軍基地の経済的関係性」が選ばれました。また、本学経済学科の宮城藍空さん、當銘泰武さん、大城卓さんによる「島嶼地域における持続

可能な観光政策－宮古島市を事例として－が次点となり、高ゼミの学生たちにとって大きな自信となりました。



発表以外にも、学生が主体となって、開催に向けての事前準備や当日の運営、各セッションの司会・進行を行ったことも、良い経験になったとのこと。また、明治大学の学生たちから、高ゼミの学生たちへ明大グッズをプレゼントして下さるというサプライズもありました。明治大学の皆様、本当にありがとうございました。

2023.09.15

本学名誉教授の石原昌家先生が第59回琉球新報賞(社会・教育功労)を受賞！

2023年9月15日(金)本学名誉教授の石原昌家先生が第59回琉球新報賞(社会・教育功労)を受賞され、贈呈式が那覇市内のホテルで執り行われました。



石原先生は、長年にわたり沖縄戦の体験者から聞き取り調査を継続して行われておりました。また、県史や市町村史の編さんに携わられるなどその功績が評価され、今回の受賞となりました。

石原先生、受賞おめでとうございます。

2023.09.24

第49回エイサーまつり(大阪市大正区)に琉球風車が出演！

2023年9月24日に大阪市大正区で行われた第49回エイサーまつりに本学エイサーサークル琉球風車(りゅうきゅうかじまやー)が参加しました！

大阪市大正区は、戦前戦後に沖縄からの移住者が多く現在では2世3世も含めて人口の4分の1が沖縄に属する方と言われる、大阪の「沖縄タウン」です。そんな大正区で沖縄出身者の集いの場として活動する「がじまるの会」が主催するエイサーまつりで、琉球風車の出演は約10年ぶりとなります。

遠征出発前には、事前学習として大正区の成り立ちや

特徴、そして沖縄出身者が大正区でどう生活してきたか、などを自ら調べ大正区出身の先輩に直接話を聞くなど理解を深めました。

また、まつりの準備・片付けもがじまるの会の皆さんと一緒にすることで、まつりを作り上げる想いに触れる機会となりました。

まつりの前日・当日は同じく沖縄からの出演となっている名桜大学の名桜エイサーと共にエイサーの魅せ方の一つである”エイサーオーラセー”を披露。その後大正区内の至る所でも演奏を披露しました。

また当日の本祭も大阪内外から約1万人以上の方が来場し、沖国大の琉球風車のエイサーを披露しました。



2023.10.06

令和5年度 秋季卒業式を挙行政いたしました

2023年10月6日(金)、令和5年度秋季卒業式を挙行政いたしました。

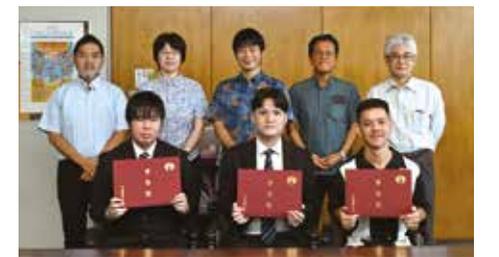


今年は法学部1名、経済学部6名、産業情報学部7名、総合文化学部4名の学部計18名が卒業認定され、それぞれ新たなステージの一步を踏み出しました。

終始和やかな雰囲気の中、ときおり笑い声もあがるなど、秋季卒業式ならではの温かな式典となりました。

ご卒業、おめでとうございます。

みなさまの益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。



2023.10.06

令和 5 年度 特待奨学生証書交付式を行いました

2023年10月6日(金)、各学部において特待奨学生証書交付式を行いました。

本学の特待奨学生制度は「学業・人物ともに優秀で他の模範となる学生」という基準で選考され、授業料及び施設設備資金に相当する額が給付されます。

今回、30名(法学部6名、経済学部6名、産業情報学部6名、総合文化学部12名)が交付対象となり、対象者の中には2年連続・3年連続で選出された学生もいました。交付式では各学部からその優秀な成績と真面目な勤勉ぶりに対する賞辞が述べられました。

冲国大では奨学金制度をはじめ、学生の皆さんの学びや活動をサポートしています。



2023.11.05

秋のオープンキャンパスを開催しました！

2023年11月5日(日)、秋のオープンキャンパスを開催しました。好天の中、高校生と保護者合わせて多くの方にお越しいただきました。オープンキャンパスにご来場いただき、誠にありがとうございました。



学科紹介や体験講座、大学生によるキャンパスツアー、保護者向けガイダンス、個別相談、サークルアトラクションなどさまざまなプログラムを通じて、来場者が“冲国大”をより身近に感じれる機会としました。直接足を運んでいただいたことで、入学後のキャンパスライフをよりイメージできたのではないのでしょうか。

2023.12.01

沖縄国際大学 第14期学長選挙結果について



2023年12月1日、第14期学長選挙が行われ、本学産業情報学部教授安里肇が第14代学長に選出されました。

任期は、2024年4月1日～2028年3月31日(4年間)。

2023年12月の理事会で正式に任命され4月1日就任予定となっています。

経歴一覧

- 1967年生 那覇市出身
- 1990年3月 琉球大学工学部電子・情報工学科卒
- 1992年3月 琉球大学大学院工学研究科電気・情報工学専攻修了
- 2003年9月 琉球大学大学院理工学研究科総合知能工学専攻 博士(工学)学位取得

学内

- 2006年4月～2008年3月 情報センター所長
- 2016年4月～2020年3月 学生部長
- 2020年4月～2022年3月 産業総合研究所所長
- 2022年4月～現在 副学長
- ※前津榮健 前理事長・学長の逝去に伴い、2023年11月1日より、理事長・学長職務代行中。現在に至る

研究分野

情報教育(プログラミング教育、eラーニング等)、知的情報処理、デジタル信号処理、非線形時系列解析、地域IoT人材の育成・活用、産学連携

安里新学長の紹介は、学報122号でご紹介いたします。

2023.12.19

国際交流クリスマスパーティーを開催しました！

2023年12月19日(火)の昼休みに、国際交流クリスマスパーティーを開催しました。

クリスマスパーティーには、約50名の学生が参加し、軽食やクリスマスケーキを食べた後、プレゼント交換をしました。

短い時間ではありましたが、学生たちはそれぞれに交流を深め、写真を撮ったり、おしゃべりをしたりと、笑顔で楽しんでいました。



2023.12.21

【全日本学生フルコンタクト空手】団体総合2位の金城さんらが安里副学長を表敬訪問いたしました

11月26日に東京にて開催された「第2回全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会(インカレ)」にて個人の部にて優勝、準優勝、第3位、団体の部にて第2位と輝かしい成績をおさめた本学に在籍するフルコンタクト空手選手の皆さんが、12月21日、安里肇副学長を表敬訪問いたしました。

訪問したのは、浦本寛史学生部長、喜屋武学生課長、フルコンタクト空手選手の金城芽唯美さん、金城杏奈さん、渡久地政弥さん、久貝飛雄馬さん、福森琉生さんです。今後の活躍に期待しております！



《団体結果》

団体総合第2位

《個人結果》

- 1部(上級者)女子軽量級(55kg未満) 準優勝 金城 杏奈さん(企業システム学科3年次)
- 2部(中級者)男子重量級(70kg以上) 第3位 福森 琉生さん(産業情報学科2年次)
- 3部(初級者)男子軽量級(70kg未満) 優勝 渡久地 政弥さん(法律学科2年次)

2024.01.20

経済学科1年全員で「2023年度スーパープレゼンテーション大会」を開催しました！

2024年1月20日(土)、経済学科の1月恒例行事である「スーパープレゼンテーション大会(1年生対象、2・3年の編入生含む)」を開催しました。



本年度は、8ゼミから選出された代表チーム(計8チーム)が2つの会場に分かれて予選を行い、各会場で1位となったチーム同士が決勝の舞台上素晴らしいプレゼンを披露しました。今年度の優勝チームは崎浜ゼミの代表チーム(伊佐輝生、古謝宏亮、長義大輝)による「沖縄観光の今後」であり、準優勝は宮城ゼミの代表チーム(砂川月、宮城タテ、兼本朱杏、宮城海基)による「沖縄の健康問題」でした。



沖縄観光をテーマとした崎浜ゼミは、沖縄県の1人当たりの観光消費額の低迷や低賃金の課題などをハワイ州との比較をデータで示しながら提示し、今後の沖縄の観光振興の取り組みとして、6次産業化やテーマパークの誘致などを提言するという有意義な報告を行いました。また、宮城ゼミによる報告は、学内での学生や教員に対するアンケート結果を活かしながら、食生活の改善や運動習慣の必要性を挙げるとともに、行動経済学の知見から、沖縄県民の健康を維持していくための具体的な提案につなげるというユニークなものでした。惜しくも入賞を逃した他チームの報告内容も高い水準にあり、1年間の基礎演習での「学び」の成果を検証できた大会でした。

2024.01.24

日本赤十字社より「金色有功章」を受章いたしました

本学は日本赤十字社より長年の赤十字事業への協力に対し、この度「金色有功章」を受章いたしました。表彰式は、2024年1月24日(水)、浦添市アイム・ユニバースでこのホールで開催された令和6年沖縄県赤十字大会にて、浦本寛史学生部長が記念の楯が授与されました。



2024.02.05

「那覇文化芸術劇場なは一と」にて産業情報学科学学生作品上映



なは一とロビー

映像編集を担当した川越奏萌さん
(産業情報学科 4年次)

「那覇文化芸術劇場なは一と」と産業情報学科大山ゼミの共同プロジェクトとして、産業情報学科大山ゼミ4年次5名の学生が制作した、CG映像作品が劇場ロビーにて上映されています。

共同プロジェクトでは、劇場の活性化及び年間を通していつでも誰もがアート作品を鑑賞できる空間の創出を目的として、ロビーに設置された340インチ(高さ4.2m、幅7.4m)の大型スクリーンにて完成度の高いCG映像作品が2024年1月中旬から3月上旬にかけて上映されました。

2024.03.04

第28回 窪徳忠琉中関係研究奨励賞贈呈式を開催いたしました

3月4日、本学学生会館にて第28回窪徳忠琉中関係研究奨励賞贈呈式を開催いたしました。

去る、2月19日に開催されました審査委員会で本学総合文化学部日本文学学科我部大和先生の受賞が決まり、この度の贈呈式開催となりました。

この賞は、琉球と中国(台湾を含む)の関係やその比較研究に従事する、若手研究者の研究を奨励し、この分野の研究の発展に寄与することを目的として、琉球と中国(台湾を含む)の関係及びその比較に関する著書、研究論文、または調査報告書などが条件となっております。

贈呈式では、南島文化研究所長で運営委員長の本学総合文化学部人間福祉学科岩田直子先生のあいさつ、審査委員長の本学総合文化学部社会文化学科石垣直先生による報告、安里肇副学長のあいさつ、我部大和先生による受賞者研究報告、参加者による記念撮影を行いました。

当日は、審査に関わった先生方やご家族など多くの皆様が出席され、我部先生の受賞を祝福されました。



2024.03.15

令和5年度 卒業式・大学院修了式を挙行了しました！

2024年3月15日(金)、本学講堂兼体育館にて第52回卒業式並びに第26回大学院修了式を挙行了しました。

各学科卒業生及び大学院修了生の代表に、卒業証書・学位記が授与された後、学業や課外活動・スポーツなどで顕著な功績があり、他学生の模範となる卒業生に対して表彰が行われました。



今回受賞となったのは、極真連合杯第5回世界空手道選手権大会優勝などの成績をおさめた金城芽唯美さん(法律学科)に学長賞が、大学での4年間をとおし学生支援室の障害学生支援サポーターや学生アルバイトとして支援を必要としている学生に親身に寄り添い、大学の広報活動等へも貢献した橘芽生さん(人間福祉学科)に学生部長賞、京都先端科学大学(国内留学先)において同大経済経営学部主催「2022年度ビジネス・プランニング・コンテスト」最優秀賞受賞した與那嶺美穂さん(地域環境政策学科)に経済学部長賞、沖縄県教員候補者選考試験現役合格(中学校社会)した島袋航さん(社会文化学科)に総合文化学部学長賞がそれぞれ贈られました。

また、スポーツ活動に顕著な成績を収めた学生に贈られる後援会長賞には、株式会社がまかつ第42回G杯争奪全日本がま磯(グレ)選手権地区予選優勝、全国大会出場した幸地海成さん(地域環境政策学科)、第61回全日本大学ボウリング選手権大会団体優勝、第54回全日本大学個人ボウリング選手権大会で準優勝した中里隆和さん(地域環境政策学科)、第61回全日本大学ボウリング選手権大会団体優勝、第55回全日本新人ボウリング選手権大会で準優勝した西島本有生さん(企業システム学科)に贈られました。

文化活動及びその他の分野で本学の社会的評価の高揚に貢献した個人及び団体に贈られる校友会会長には、精密工学画像応用技術専門委員会主催「外観検査アルゴリズムコンテスト2023」優秀賞の上江田すずかさん(産業情報学科)、那覇文化芸術劇場なは一と大山ゼミの共同プロジェクトとして製作した映像作品を劇場ロビーに設置された大型スクリーンで上映したとして川越奏萌さん、具志鈴さん、屋富祖伶子さん、松本りえさん、榎丸奈々さん(産業情報学科)、第7回とうがにあやぐ大会優勝、第15回なりやまあやぐまつり なりやまあやぐ大賞を受賞した奥平乙斗さん(日本文学学科)に贈られました。

その後、安里肇学長職務代行(副学長)による告辞が行われ、全学生を代表し総合文化学部日本文学学科の石川舞さんが答辞を読み上げました。

学部卒業生1,119名、大学院修了生26名の計1,145名がそれぞれの目標や夢に向けて、新たな一歩を踏み出しました。



コロナ禍によって4年前の入学式は中止。学部卒業生にとって、本日の卒業式は、同級生が一堂に会した最初で最後の日でした。

本日、無事に卒業を迎えた卒業生・修了生の皆さん、ご卒業ご修了、誠におめでとうございます。本日、何の制限もなく、晴れやかにこの日を迎えられたことを教職員一同、嬉しく思っております。社会に出てさまざまな壁に立ち止まることもあるかと思いますが、人類が経験したことない世界的な感染症の広がりのおかげで沖繩国際大学で学生生活を送ったこの経験をふまえ、困難を恐れず自由に未来を切り拓き続けてください！



2024.03.17

春のオープンキャンパスを開催しました！

2024年3月17日(日)に春のオープンキャンパスを開催し、多くの高校生や保護者の皆様にご参加いただきました。



当日は、オープニング講座から始まり、学科紹介・在学生との懇談会、入試相談などの個別相談コーナー、在学生によるキャンパスツアーなど盛りだくさんの内容で開催いたしました。オープンキャンパスの様子をピックアップしてご紹介いたします。

●オープニング講座：大学で「ジェネリックスキル」を身につけよう

総合文化学部人間福祉学科の桃原一彦教授(本学社会学科卒業)が担当しました。

大学で身につける能力を「ジェネリックスキル(学士力)」と言い、それはなんだろうか？それはどのように身につけ、社会に出て何の役に立つのだろうか？という疑問に、ジェネリックスキルの基本となる8つの力(聞く力・課題発見力・情報収集力・情報整理力・読む力・書く力・データ分析力・プレゼンテーション力)を高校生にわかりやすく解説しておりました。そして、高校生までの学びと専門学校と大学の違いにも触れながら、「大学は4年間かけてじっくりと自分を理解し自分の“ウリ”を組み立てるところ」で、沖国大で8つの力と自分の“ウリ”を育もうと声かけしておりました。



●学科紹介&フリートーク

先生や在学生による大学での学びや、大学生活について気になることを何でも質問していました。



●個別相談ブース

入試、奨学金、留学、就職、ボランティア・障害学生支援について相談ブースを設けました。入試相談や、入学後のキャンパスライフについて、さまざまな相談が受けられました。



●キャンパスツアー

在学生がキャンパス内を案内するキャンパスツアーを実施しました。図書館などの施設を在学生と一緒に回り、学内には参加者で賑わっていました！



SPECIAL TOPIC

【教職課程】

沖縄県教員採用試験結果 現役合格3名を含む、67名が合格

今年度実施された教員採用試験において、本学出身者が67名（昨年は47名）合格しました。そのうち、3名（中学校国語、中学校英語、中学校社会）は現役合格（昨年は1名（中学校英語））でした。

沖縄国際大学で取得できる免許種に限ると、本学関係者が占める割合は40%を超えています（48名／115名）。

非常に「狭き門」であるにもかかわらず、現役合格という偉業を成し遂げた学生たち、そして卒業後も教員になるという夢に向かって努力を続け合格を勝ち取った卒業生たちの存在は、本学にとっての誇りであり、後輩たちにとって大きな励みになります。

現役合格者の声

●名嘉眞 想さん（日本文化学科）

今回、採用試験に合格することができたのは、沖国大で得た多くの学びと、4年間支えてくださった先生方・仲間たちのおかげです。本当にありがとうございました。沖国大の教職課程では、教育に対する見方、考え方を広く探求すると共に、子どもたちとの関わり方や授業作りの知識も多く身につけることができました。数々の授業実践で先生方から多くの指摘、アドバイスをいただき、そこから仲間たちと協力して検討を重ねた日々が今の私を作ったと確信しています。合格はゴールではなく、スタートです。子どもたちの成長に携わる者としての自覚と責任、学び続ける意志を持ち続け、春から一教員として励んで参ります。



當間 颯太さん（写真：左）
（英米言語文化学科4年次：那覇高校出身）
島袋 航さん（写真：中央）
（社会文化学科4年次：那覇西高校出身）
名嘉眞 想さん（写真：右）
（日本文化学科4年次：具志川高校出身）

●當間 颯太さん（英米言語文化学科）

先生になるという小学校5年生の頃からの夢を叶えることができてすごく嬉しいです。残りの在学期間も教師としても人としても成長できるよう、「この先生となら英語勉強するのが楽しいかも」と、すべての生徒に英語のおもしろさを伝えられるような教員を目指して頑張ります。最後に、ここまで僕を支えて成長させていただいた英語科教育法担当の津波先生をはじめとする沖縄国際大学教職課程担当教員の皆様、職員の皆様、一緒に今まで頑張ってきた教職課程履修生、そして最後まで僕を信じて応援してくれた家族へ、この場を借りて心からの感謝の気持ちを記します。

●島袋 航さん（社会文化学科）

今回の採用試験合格は決して自分一人の力で成し遂げたものではありません。試験対策、特に二次試験にあたり、模擬授業対策を手伝ってくれた教職の先生方、現場の先生方、面接対策を行って下さったキャリア支援課の方々、教職ゼミの仲間たちに改めて感謝を伝えたいです。採用試験合格はスタートラインだと思っています。来年から現場に出るにあたり、経験はもちろん知識、技術ともまだまだ不足しています。採用試験合格に満足することなく、さらに良い授業、よい学校・学級経営、生徒との関わり方など常に新しいことに挑戦し続け、学び続ける教員になりたいです。

沖縄国際大学は、教員になりたいという目標の達成に向けて力強くサポートします。合格者した皆さんの活躍を心から期待しています。本当におめでとうございます！



合格者を支援した先生方
後列左から3 津波聡教授（英米言語文化学科）、
藤波潔教授（社会文化学科）、
桃原千英子教授（日本文化学科）、
田場裕規教授（日本文化学科）



空手道部

部長 友利 瑛令那

入部方法

練習時に直接武道場へお越しください。

活動場所・曜日・時間

体育館地下1Fの空手道場

●火・水・木: 18:00~20:00

●土曜日: 10:00~12:00

私たち空手道部は、男女14名で活動しています。

空手道を通して礼節を重んじることの大切さや、基礎運動能力の向上により、心身ともに強く逞しく成長することが出来るので、空手発祥の地沖縄で是非一緒に空手を楽しみましょう!

また遠征も多いので、普段出来ない経験をすることが出来、大学生活を楽しく充実させる事ができると思います!

男女や学年関係なく、仲のいい部活です。初心者、マネージャー希望の方も是非空手道場に足を運んでください!



茶道部

部長 伊藝 ほのか

入部方法

部室にて入部届けの提出。
または、インスタのDMIにてご連絡下さい!



@OKIU_SADO

活動場所・曜日・時間

サークル棟2階

階段登って左に曲がって突き当り

私たち茶道部は、お茶の点て方や礼儀作法など茶道を通して日本文化について学んでいます。

活動は【毎週月曜日16:30】から行っており、その内の1回は外部講師を招いてお稽古をしています! その他にも、夏のお茶会や合宿・クリスマスパーティーなどのイベントも行い、メンバーで楽しみながら活動をしています!

お稽古を通してお免状(認定書)を取得することができます。

これは、学生割で取得でき、就活の際には面接での話題づくりにもなります!

メンバーのほとんどが初心者からスタートなので、初めてでも興味のある方は気軽にご参加ください!

茶道部のインスタではイベントの日程なども流しているため、フォローお願いします!



SPORTS CIRCLE 体育系サークル



所属クラブ
男子サッカー部

大学生活、本気でサッカーしよう!

我々男子サッカー部は、約80人の部員とスタッフ陣と共に日々練習に取り組んでいます。少しでも多くのプレーヤーが試合に出られるように3つのチームに分け練習に取り組み、九州大学一部リーグ、沖縄県社会人一部リーグに2チームで挑んでいます。九州大学一部リーグでは、三位以内を目標に沖縄県社会人一部リーグでは、両チームともに優勝を目指し、各チームで学生を中心に話し合い、沖縄国際大学サッカー部にしかできないサッカーを創っています。大学生活、自分たちと一緒に本気でサッカーに費やしたいという人はぜひ、一度グラウンドに活動を見に来てください。

石原 空

[いしはら そら]

英米言語文化学科 3年次 長崎総合科学大学附属高校(長崎県)出身

CULTURE CIRCLE 文化系サークル



所属クラブ
芸能文化サークル
「ピリカウタリ」

視点は郷土、視野は世界!

私が所属する社会文化学科(通称・社文)の特色の一つであるフィールドワークは、現地で学ぶ学習で資料や机上だけでは得られないものがあります。この学びを通して私は生まれ育った沖縄がさらに好きになりました。

このフィールドワークは、サークル活動にも役立っています。私は、沖縄芸能を中心に、沖縄以外の土地や国の芸能の要素を混ぜた舞台を創り、「一人一人の個性が輝くサークル」を目指す「ピリカウタリ」という創作芸能サークルを2022年に立ち上げました。社文で培っているフィールドワークをサークル活動につなげ、出来るだけ現場で見学するようにしています。よき仲間と一緒に舞台を創り輝きたい人は、ぜひピリカウタリまで!

川勝 渚羽太

[かわかつ しょうた]

社会文化学科 3年次 八重山高校出身



沖縄国際大学概要紹介動画が完成

この動画は、本学の歴史、教育内容、学生生活サポート、施設など、いつでもどこからでも、気軽に沖縄国際大学を知ることができます！



令和5年度 うまんちゅ定例講座実施報告

「うまんちゅ定例講座」は、地域に根ざした大学として、地域の方々と、日常や将来の糧になるような知識を共有するという観点から、毎年テーマを設定し、わかりやすく解説し、参加者と一緒に考えていく講座です。

令和5年度は、産業情報学部が担当し、産業情報学科・企業システム学科の教員が「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」や「地域活性化」を論点として共有し、『DX 時代における地域活性化』というテーマで6月から10月にかけて全10回を開講いたしました。



- 第1回 「地域活性化に向けた観光資源の活用方法」
- 第2回 「データでみる日本・沖縄・アジア地域」
- 第3回 「スポーツによる地域活性化」
- 第4回 「地域経済のデジタル化と金融 ―コロナ後の行方―」
- 第5回 「域学連携の実践から考える地域活性化の方向性」
- 第6回 「DX 時代における行政の対応」
- 第7回 「DX 時代における観光ビジネスの課題」
- 第8回 「中国国営企業のマーケティング管理」
- 第9回 「Z世代の沖縄デジタル観光 ―DXとSNSマーケティングの影響―」
- 第10回 「インバウンド観光と『地域の食』」

今年度は延べ250名の受講生の方にご参加いただきました。今回の講座内容は、書籍化され2024年4月ごろに全国の書店で販売予定です。

学内人事

◆ 採用教職員紹介 ①最終学歴 ②専門分野

[2023年4月1日付]



産業情報学部 企業システム学科准教授
小原 満春 (おはら みつはる)

- ① 和歌山大学大学院 観光学研究科 博士後期課程修了 博士(観光学)
- ② 地域マーケティング、商業科教育法



総合文化学部 人間福祉学科 講師
宮良 尚子 (みやら しょうこ)

- ① 沖縄国際大学大学院 地域文化研究科修士(臨床心理学)
- ② 臨床心理学、周産期心理臨床



センター統括部 入試センター 係員
照屋 佑太 (てるや ゆうた)

- ① 沖縄国際大学 産業情報学部 企業システム学科卒業



教務部 学務課 係員
宮里 みり (みやざと みり)

- ① 沖縄国際大学 法学部 法律学科卒業



研究支援部研究支援課 南島文化研究所 研究支援助手
金城 翼 (きんじょう つばさ)

- ① 沖縄国際大学大学院 地域文化研究科修士(文学)



研究支援部研究支援課 産業総合研究所 研究支援助手
上原 彰公 (うえはら あきとも)

- ① 沖縄国際大学大学院 地域産業研究科修士(商学)

◆ 退職者 ※特任教員、再任用職員として引き続き在籍する者は除く

[2023年3月31日付]

職名	氏名	勤続年数
産業情報学部 教授	宮森 正樹	29年
総合文化学部 教授	井村 弘子	16年
南島文化研究所 研究支援助手	宮平 盛晃	3年
産業総合研究所 研究支援助手	瑞慶覧 美恵	3年

◆ 昇任 教育職員

[2023年4月1日付]

新職名	氏名	旧職名
経済学部 准教授	小濱 武	経済学部 講師
総合文化学部 教授	桃原 千英子	総合文化学部 准教授
総合文化学部 准教授	月野 楓子	総合文化学部 講師
総合文化学部 准教授	山岡 明奈	総合文化学部 講師

◆ 併任 教育職員 ※再任の者は除く

[2023年4月1日付]

役職名	氏名	職名
総合文化学部長	尚 真貴子	総合文化学部 教授
地域文化研究科長	藤波 潔	総合文化学部 教授

◆ 昇任 教育職員

[2023年10月1日付]

新職名	氏名	旧職名
経済学部 准教授	高 哲央	経済学部 講師
総合文化学部 教授	宮城 弘樹	総合文化学部 准教授

入試広報サポーター募集のお知らせ

広報課では大学の入試広報活動をお手伝いしてくれるサポーターを募集しています！在学学生であればどなたでも参加出来ますので、お友達を誘って入試広報サポーターに登録しましょう♪

サポーターの主な活動

オープンキャンパスのツアーガイド

キャンパスツアーのガイド役として高校生を対象に沖縄国際大学の案内や説明をしてもらいます。そのほか、オープンキャンパスのお手伝いをお願いします。



大学説明会への同行

沖縄国際大学では各高校から大学説明会の依頼があった際に教員や在学学生を派遣しています。出身高校へ行って沖縄国際大学の魅力を語ってみませんか？

大学案内・広報誌へのコメント掲載

学科紹介やキャンパスライフなどのコメントを執筆してもらいます。沖縄国際大学の魅力を写真や文章を通して伝えてもらいます。過去に広報誌で掲載された学生に雑誌のモデル依頼がきたこともあります。

特に「学報(当広報誌)」の表紙や、18-23ページの「OKIU青春白書 ～活躍する学生たち!～」に出ていただけの在学学生を探しています。自薦他薦は問いませんので、「表紙をかざってみたい!」「私のこんな活動を取り上げてほしい!」「あの学生がすごい!」といったトピックがありましたら、ぜひ広報課までお知らせください。

教職員のみならずからの情報もお待ちしております。



少しでも気になる内容があった方は、ぜひ下記の窓口で登録して下さい。登録された皆さんのスケジュールを優先しますので、参加出来ない場合などは事前に調整可能です。学科・出身高校など考慮した上でサポーターを選出しますので、ご期待に添えない場合もあります。

サポーター登録窓口

<広報課>

場所：本館4階

TEL：098-893-7629 E-mail：pubchr@okiu.ac.jp

体育祭

4月30日(火)

体育祭は、大学全体が学部学科・学年等の垣根を越え親睦を深める目的で毎年開催されています。毎年学生有志の実行委員会が企画・運営の全てを担います。学科や学年を越えて交流が盛んな沖縄国際大学を象徴するようなイベントです。



information

大学行事案内 (2024年4月~2024年5月)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 4月1日(月) | 入学式、第1回新入生・編入生オリエンテーション |
| 4月2日(火) | 在学生(編入生含む)オリエンテーション |
| 4月2日(火)~4月5日(金) | 前期・通年科目Web仮登録期間 |
| 4月3日(水) | 第2回新入生オリエンテーション |
| 4月8日(月) | 前期講義開始 |
| 4月7日(日)~4月13日(土) | 前期・通年科目登録調整期間 |
| 4月29日(月) | 出校日(昭和の日) |
| 4月30日(火) | 体育祭(休講) |
| 5月1日(水) | 休校日(4月29日の振替休日) |
| 5月2日(木) | 休校日(7月15日の振替休日) |

OKIU SNS

大学公式SNSでは随時情報を発信中です。LINEでは入試広報関連情報を、InstagramとX(旧Twitter)では大学構内の風景やキャンパスライフを、Facebookでは保護者や卒業生向けの情報を中心に更新しています。ぜひ一度ご覧になってみてください。



LINE
@okikokudai



Instagram
@okikokudai_pr



X (旧Twitter)
@okikokudai_pr



facebook
@OKIU.PR

平和・共生 個性・創造 自立・発展



沖縄国際大学



編集 | 事務局広報課 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1 TEL.098-893-7629 Email : pubchr@okiu.ac.jp

印刷 | 株式会社 尚生堂